

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>日本の歴史についての知識を身に付ける</p> <p>日本の歴史上の出来事を説明できる</p> <p>学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：聖徳太子の政治～律令体制の完成</p> <p>02：奈良時代</p> <p>03：平安時代①</p> <p>04：平安時代②～鎌倉時代</p> <p>05：室町時代</p> <p>06：戦国時代</p> <p>07：江戸時代①（武断政治）</p> <p>08：江戸時代②（文治政治～田沼政治）</p> <p>09：江戸時代③（寛政の改革～天保の改革）</p> <p>10：幕末～明治維新</p> <p>11：明治時代（自由民権運動～条約改正）</p> <p>12：明治時代（日清戦争～日露戦争）</p> <p>13：大正時代（第一次世界大戦～政党政治）</p> <p>14：大正～昭和時代（昭和初期の経済）</p> <p>15：昭和時代（太平洋戦争）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：西洋史①（第7章）</p> <p>02：西洋史②（第7章、第8章）</p> <p>03：西洋史③（第8章、第9章）</p> <p>04：西洋史④（第9章）</p> <p>05：西洋史⑤（第10章）</p> <p>06：西洋史⑥（第10章、第11章）</p> <p>07：西洋史⑦（第11章）</p> <p>08：西洋史⑧（第12章）</p> <p>09：西洋史⑨（第13章）</p> <p>10：西洋史⑩（第14章）</p> <p>11：西洋史⑪（第15章）</p> <p>12：西洋史⑫（第15章、第16章）</p> <p>13：西洋史⑬（第16章）</p> <p>14：西洋史⑭（第17章）</p> <p>15：西洋史⑮（第17章）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：地形①</p> <p>02：地形②</p> <p>03：地形③</p> <p>04：世界の気候・植生・土壌①</p> <p>05：世界の気候・植生・土壌②</p> <p>06：世界の気候・植生・土壌③</p> <p>07：1章問題演習</p> <p>08：世界の国々（アジア）①</p> <p>09：世界の国々（アジア）②</p> <p>10：5章1節問題演習</p> <p>11：世界の国々（ヨーロッパ）①</p> <p>12：世界の国々（ヨーロッパ）②</p> <p>13：世界の国々（北米・南米）①</p> <p>14：世界の国々（北米・南米）②</p> <p>15：5章3節4節問題演習</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：1章政治と権力、近代国家</p> <p>02：1章近代国家、国家論</p> <p>03：1章復習&テスト</p> <p>04：2章権力分立 議院内閣制 大統領制</p> <p>05：2章各国の政治制度 2章復習&テスト</p> <p>06：3章政党と政党制 選挙制度</p> <p>07：3章選挙制度 圧力団体</p> <p>08：3章復習&テスト</p> <p>09：5章明治憲法と日本国憲法 日本国憲法の三大原則 5章復習</p> <p>10：6章人権保障の歴史 人権の享有主体 公共の福祉国民の義務 5章&6章テスト</p> <p>11：7章幸福追求権 新しい人権 8章平等権</p> <p>12：7章&8章復習&テスト</p> <p>13：9章自由権の意義～学問の自由</p> <p>14：10章人身の自由の意義～財産権の保障</p> <p>15：11章人身の自由～被告人の権利</p>		<p>回</p> <p>16：12章社会権の成立～労働基本権</p> <p>17：12章テスト 13章能動的権利 14章憲法改正</p> <p>18：12章&13章テスト 人権分類のテスト</p> <p>19：15章国会の地位と機構～衆議院優越</p> <p>20：15章前回講義の復習 国会の種類・審議と評決</p> <p>21：15章再復習 15章テスト</p> <p>22：16章内閣の機構と内閣の構成</p> <p>23：16章復習&テスト 天皇の国事行為</p> <p>24：17章司法権の帰属～司法権の限界</p> <p>25：17章復習&テスト</p> <p>26：19章地方自治の意義～住民の権利</p> <p>27：19章復習&テスト</p> <p>28：15章国会の復習</p> <p>29：16章内閣の復習</p> <p>30：17章司法権の復習</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	社会科学ⅡA	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。</p> <p>経済社会や経済史について説明ができる。</p> <p>現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：1章経済社会の仕組み 経済体制</p> <p>02：1章経済体制 経済理論</p> <p>03：1章復習&テスト</p> <p>04：2章企業の携帯 企業の巨大化</p> <p>05：2章中小企業 2章復習&テスト</p> <p>06：3章市場メカニズム</p> <p>07：3章市場メカニズム 寡占市場</p> <p>08：3章復習&テスト</p> <p>09：4章国民所得と国富</p> <p>10：4章復習&テスト</p> <p>11：5章景気循環 インフレーション</p> <p>12：5章経済成長 5章復習&テスト</p> <p>13：6章通貨制度</p> <p>14：6章金融制度 信用創造</p> <p>15：6章日本銀行の役割&金融政策</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	社会科学ⅡB	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：6章復習&テスト</p> <p>02：7章財政の役割 財政制度</p> <p>03：7章財政制度</p> <p>04：7章財政制度 財政政策</p> <p>05：7章復習&テスト</p> <p>06：8章国際分業と貿易 国際収支</p> <p>07：8章外国為替と為替相場</p> <p>08：8章復習&テスト</p> <p>09：9章戦後の経済民主化と復興</p> <p>10：9章石油危機後の日本経済 産業構造の転換</p> <p>11：9章復習&テスト</p> <p>12：10章国際通貨・金融体制</p> <p>13：10章貿易の自由化 地域的経済統合</p> <p>14：10章復習&テスト</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や体の仕組みについて学ぶ</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 体のしくみについて簡単に説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回 01：公務員試験で出やすい単元の紹介、1章1節 02：2章1節 03：2章1節 04：2章2節 05：2章2節 06：2章3節 07：2章3節 08：2章確認テスト 09：6章1節 10：6章3節 11：6章4節 12：6章5節 13：6章6節 14：6章問題演習 15：6章確認テスト</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境、宇宙についての知識を見に付ける。</p> <p>地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。</p> <p>科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：地球の形と内部構造</p> <p>02：動く大地</p> <p>03：地震、プレートと日本列島</p> <p>04：火成岩とマグマ</p> <p>05：堆積岩と風化作用、変成岩と造山運動</p> <p>06：第1、2章演習</p> <p>07：大気の種類と熱収支、雲と降雨</p> <p>08：地球をめぐる大気</p> <p>09：気象現象と日本の四季</p> <p>10：第3章演習</p> <p>11：地球の運動①</p> <p>12：地球の運動②</p> <p>13：太陽系と惑星①</p> <p>14：太陽系と惑星②、恒星の世界</p> <p>15：第4章演習</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の基礎能力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>数的推理の濃度を理解する</p> <p>数的推理の割合と比を理解する</p> <p>数的推理の速さを理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：濃度①</p> <p>02：濃度②</p> <p>03：濃度復習</p> <p>04：割合と比①</p> <p>05：割合と比②</p> <p>06：割合と比復習</p> <p>07：濃度&割合と比まとめ</p> <p>08：速さ①</p> <p>09：速さ②</p> <p>10：速さ①&②復習</p> <p>11：速さ③</p> <p>12：速さ④</p> <p>13：速さ③&速さ④復習</p> <p>14：速さ①～④復習</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の基礎能力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>数的推理の場合の数を理解する</p> <p>数的推理の確率を理解する</p> <p>数的推理の平均を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：場合の数①</p> <p>02：場合の数②</p> <p>03：場合の数③</p> <p>04：場合の数①～③復習</p> <p>05：確率①</p> <p>06：確率②</p> <p>07：確率③</p> <p>08：確率①～③復習</p> <p>09：場合の数、確率復習</p> <p>10：平均①</p> <p>11：平均②</p> <p>12：年齢①</p> <p>13：年齢②</p> <p>14：平均・年齢復習</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科2年制					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の問題演習力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>数的推理の濃度・場合の数の問題演習力を高める</p> <p>数的推理の割合・比の問題演習力を高める</p> <p>数的推理の平均・速さの問題演習力を高める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：濃度、場合の数演習①</p> <p>02：濃度、場合の数演習②</p> <p>03：濃度、場合の数演習③</p> <p>04：割合、濃度、場合の数演習</p> <p>05：割合、比、濃度、確率演習</p> <p>06：場合の数演習</p> <p>07：割合、速さ、確率の演習</p> <p>08：平均、速さ、割合、確率の演習</p> <p>09：割合と比、速さ、平均算の演習</p> <p>10：総まとめ演習①</p> <p>11：総まとめ演習②</p> <p>12：総まとめ演習③</p> <p>13：総まとめ演習④</p> <p>14：総まとめ演習⑤</p> <p>15：総まとめ演習⑥</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、基礎的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の論理・集合・推理・手順の解法(基礎)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>作図をして問題を解くことができる</p> <p>作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理①</p> <p>02：論理②</p> <p>03：論理③</p> <p>04：論理④</p> <p>05：論理⑤</p> <p>06：集合①</p> <p>07：集合②</p> <p>08：集合③</p> <p>09：集合④</p> <p>10：集合⑤</p> <p>11：集合⑥</p> <p>12：推理・手順①</p> <p>13：推理・手順②</p> <p>14：推理・手順③</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的	【目的】 講義を通して柔軟な思考力と空間認知能力を養う。				
概要	【概要】 判断推理の対応・試合・うその発言の解法(基礎)を学ぶ。				
到達目標	記号化させて問題を解くことができる。 作図をして問題を解くことができる 作表をして問題を解くことができる。				
授業内容	回 01：対応① 02：対応② 03：対応③ 04：対応④ 05：対応⑤ 06：試合① 07：試合② 08：試合③ 09：試合④ 10：試合⑤ 11：うその発言① 12：うその発言② 13：うその発言③ 14：うその発言④ 15：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、応用的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の順序、位置・方位、暗号の解法(基礎)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>記号化させて問題を解くことができる。 作図をして問題を解くことができる 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：順序① 02：順序② 03：順序③ 04：順序④ 05：順序⑤ 06：順序⑥ 07：位置・方位① 08：位置・方位② 09：位置・方位③ 10：位置・方位④ 11：位置・方位⑤ 12：位置・方位⑥ 13：暗号① 14：暗号② 15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	学習した解法を復習すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して基礎的な空間認知能力を養い、平面幾何学の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 平面図形の問題を解き、解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>平面図形の問題の解法を知る</p> <p>平面図形の問題が解ける</p> <p>文章問題の重要単元の問題が解ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：折り紙・一筆書き①</p> <p>02：折り紙・一筆書き②</p> <p>03：折り紙・一筆書き③</p> <p>04：軌跡①</p> <p>05：軌跡②</p> <p>06：軌跡③</p> <p>07：軌跡④</p> <p>08：正多面体・展開図①</p> <p>09：正多面体・展開図②</p> <p>10：正多面体・展開図③</p> <p>11：正多面体・展開図④</p> <p>12：正多面体・展開図⑤</p> <p>13：正多面体・展開図⑥</p> <p>14：論理まとめ</p> <p>15：平面図形 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理 X	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力や幾何学（平面図形）を学ぶ</p> <p>【概要】 幾何学（平面図形）の問題の解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>平面図形を解くうえで基本的な計算方法を習得する。</p> <p>幾何学（平面図形）の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>幾何学（平面図形）の実践問題が解けるようになる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：相似比</p> <p>02：相似比復習、底辺分割定理説明</p> <p>03：底辺分割定理の復習、共通角を持つ面積比</p> <p>04：面積比、底辺分割定理①</p> <p>05：面積比、底辺分割定理②</p> <p>06：面積比、底辺分割定理③</p> <p>07：面積比、底辺分割定理④</p> <p>08：円①</p> <p>09：円②</p> <p>10：円③</p> <p>11：円④</p> <p>12：扇形と移動図形</p> <p>13：平面図形まとめ演習①</p> <p>14：平面図形まとめ演習②</p> <p>15：平面図形まとめ演習③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	応用数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して資料を正しく読み取れる能力を身につけ、さらに判断推理の応用問題にも対応できる力を養成する</p> <p>【概要】 資料解釈の解法および判断推理の応用問題を解き実践力を身につける</p>				
到達目標	<p>資料解釈の解法を知る 資料解釈の問題を解ける 1年生で学習した解法を使い、応用問題が解ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：資料解釈① 02：資料解釈② 03：資料解釈③ 04：資料解釈④ 05：資料解釈⑤ 06：論理 応用 07：集合 応用 08：順序 応用 09：位置・方位 応用 10：対応 応用 11：勝敗 応用 12：うその発言 応用 13：推理・手順、暗号 応用 14：平面図形 応用 15：立体図形 応用</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	応用数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な数的推理の出題方法を知る</p> <p>応用的な数的推理の解法を習得する</p> <p>応用的な数的推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：空間図形①</p> <p>02：空間図形②</p> <p>03：方程式③</p> <p>04：不定方程式</p> <p>05：不等式、過不足算</p> <p>06：総まとめ演習（実践）①</p> <p>07：総まとめ演習（実践）②</p> <p>08：総まとめ演習（実践）③</p> <p>09：総まとめ演習（実践）④</p> <p>10：総まとめ演習（実践）⑤</p> <p>11：総まとめ演習（実践）⑥</p> <p>12：総まとめ演習（実践）⑦</p> <p>13：総まとめ演習（実践）⑧</p> <p>14：総まとめ演習（実践）⑨</p> <p>15：総まとめ演習（実践）⑩</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代文の文法を理解する。 長文読解のための手法を身につける。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回 01：国語①（第1章：文節の働き，文の構造，品詞） 02：国語②（第1章：品詞の識別） 03：国語③（第3章：文学史 上代～近世） 04：国語④（第3章：文学史 近現代①） 05：国語⑤（第4章：文学史 近現代②） 06：文章理解①（要旨把握①） 07：文章理解②（要旨把握②） 08：文章理解③（主旨把握①） 09：文章理解④（主旨把握②） 10：文章理解⑤（文章整序） 11：文章理解⑥（空欄補充） 12：文章理解⑦（内容合致） 13：文章理解⑧（総合演習①） 14：文章理解⑨（総合演習②） 15：思想①（第1章：西洋思想の源流）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	コミュニケーションスキルⅧ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員に求められるコミュニケーション能力及び文書作成能力を育む。</p> <p>【概要】 面接練習や作文練習を通じてコミュニケーション能力や文書作成能力を養う。</p>				
到達目標	<p>基礎的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>基礎的な文書作成能力を身につける。</p> <p>応用的なコミュニケーション能力及び文書作成能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：作文①</p> <p>02：作文②</p> <p>03：作文③</p> <p>04：事務適性対策①</p> <p>05：作文④</p> <p>06：事務適性対策②</p> <p>07：自治体プレゼン準備①</p> <p>08：自治体プレゼン準備②</p> <p>09：自治体プレゼン準備③</p> <p>10：自治体プレゼン準備④</p> <p>11：個人面接①</p> <p>12：個人面接②</p> <p>13：個人面接③</p> <p>14：作文⑤</p> <p>15：個人面接④</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	文章表現能力	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、作文の書き方の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 作文の基礎を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>作文の構成や原稿用紙の使い方について理解する。 まとめ表を活用し作文を書く際の素地を完成させる。 作文の書き方について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：作文の書き方レクチャー</p> <p>02：論作文の方針及び作文例を基にした実践</p> <p>03：作文を早く書くための思考法</p> <p>04：まとめ表（心構え）を作成及び実践</p> <p>05：まとめ表（自身の経験）を作成及び実践</p> <p>06：まとめ表（時事）を作成及び実践①</p> <p>07：まとめ表（時事）を作成及び実践②</p> <p>08：まとめ表（時事）を作成及び実践③</p> <p>09：まとめ表（時事）を作成及び実践④</p> <p>10：まとめ表（理想像）を作成及び実践</p> <p>11：国家対策作文①</p> <p>12：国家対策作文②</p> <p>13：地方対策作文①</p> <p>14：地方対策作文②</p> <p>15：単位認定作文</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前課題がある場合には、準備しておくこと				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	共同学習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 共同学習を通して、学習内容の相互理解を深めると同時にコミュニケーションスキルを磨く</p> <p>【概要】 共同学習と確認試験の実施</p>				
到達目標	<p>数的推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>判断推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>コミュニケーションスキルを向上させる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：チームスタディ 判断①</p> <p>02：チームスタディ 数的①</p> <p>03：チームスタディ 判断②</p> <p>04：チームスタディ 数的②</p> <p>05：チームスタディ 判断③</p> <p>06：チームスタディ 数的③</p> <p>07：チームスタディ 判断④</p> <p>08：チームスタディ 数的④</p> <p>09：チームスタディ 判断⑤</p> <p>10：チームスタディ 数的⑤</p> <p>11：チームスタディ 判断⑥</p> <p>12：チームスタディ 数的⑥</p> <p>13：チームスタディ 判断⑦</p> <p>14：チームスタディ 数的⑦</p> <p>15：チームスタディ 判断⑧</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	共同学習Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 共同学習を通して、学習内容の相互理解を深めると同時にコミュニケーションスキルを磨く</p> <p>【概要】 共同学習と確認試験の実施</p>				
到達目標	<p>数的推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>判断推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>コミュニケーションスキルを向上させる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：チームスタディ 数的⑧</p> <p>02：チームスタディ 判断⑨</p> <p>03：チームスタディ 数的⑨</p> <p>04：チームスタディ 判断⑩</p> <p>05：チームスタディ 数的⑩</p> <p>06：チームスタディ 判断⑪</p> <p>07：チームスタディ 数的⑪</p> <p>08：チームスタディ 判断⑫</p> <p>09：チームスタディ 数的⑫</p> <p>10：チームスタディ 判断⑬</p> <p>11：チームスタディ 数的⑬</p> <p>12：チームスタディ 判断⑭</p> <p>13：チームスタディ 数的⑭</p> <p>14：チームスタディ 判断⑮</p> <p>15：チームスタディ 数的⑮</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	6	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮</p>		<p>回</p> <p>16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態		区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	
授業回数		単位		実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45	回 16：模擬試験 46 17：模擬試験 47 18：模擬試験 48 19：模擬試験 49 20：模擬試験 50 21：模擬試験 51 22：模擬試験 52 23：模擬試験 53 24：模擬試験 54 25：模擬試験 55 26：模擬試験 56 27：模擬試験 57 28：模擬試験 58 29：模擬試験 59 30：模擬試験 60			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態		区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	
授業回数		単位		実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験 61 02：模擬試験 62 03：模擬試験 63 04：模擬試験 64 05：模擬試験 65 06：模擬試験 66 07：模擬試験 67 08：模擬試験 68 09：模擬試験 69 10：模擬試験 70 11：模擬試験 71 12：模擬試験 72 13：模擬試験 73 14：模擬試験 74 15：模擬試験 75		回 16：模擬試験 76 17：模擬試験 77 18：模擬試験 78 19：模擬試験 79 20：模擬試験 80 21：模擬試験 81 22：模擬試験 82 23：模擬試験 83 24：模擬試験 84 25：模擬試験 85 26：模擬試験 86 27：模擬試験 87 28：模擬試験 88 29：模擬試験 89 30：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	PC 実習基礎 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>3. 職場での報告書作成や関数を利用した表作成などで、業務の効率化を図ることができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : Word の基本操作、ビジネスメールの作成</p> <p>02 : ビジネス文書の作成、問題演習</p> <p>03 : シンプルなレポートや報告書の作成①</p> <p>04 : シンプルなレポートや報告書の作成②</p> <p>05 : 表、画像、図形を使った文書の作成①</p> <p>06 : 表、画像、図形を使った文書の作成②</p> <p>07 : 問題演習</p> <p>08 : Word テスト</p> <p>09 : 表作成の基本操作</p> <p>10 : 見やすく使いやすい表にする編集操作</p> <p>11 : 数式・関数を活用した集計表の作成①</p> <p>12 : 数式・関数を活用した集計表の作成②、ワークシート間の集計</p> <p>13 : グラフの基本</p> <p>14 : 目的に応じたグラフの作成と編集</p> <p>15 : Excel テスト</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般教養 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して就職試験（SPI）に必要な学力を養成する</p> <p>【概要】 SPI の問題を通して解法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>SPI の概要を知る</p> <p>SPI の言語分野を学習する</p> <p>SPI の非言語分野を学習する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : SPI の概要説明及びテストの実施</p> <p>02 : SCOA の概要説明及びテストの実施</p> <p>03 : 非言語分野「仕事算」</p> <p>04 : 非言語分野「単価・個数・総学」</p> <p>05 : 非言語分野「損益算」</p> <p>06 : 非言語分野「速さ・時間・距離」</p> <p>07 : 非言語分野「場合の数」</p> <p>08 : 非言語分野「確率」</p> <p>09 : 非言語分野「分割払いと割合」</p> <p>10 : 非言語分野「対応関係」</p> <p>11 : 非言語分野「集合」</p> <p>12 : 言語分野「二語関係①」</p> <p>13 : 言語分野「二語関係②」</p> <p>14 : 言語分野「文章整序」</p> <p>15 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	卒業実践研究	授業形態	演習	区分	必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	15	単位	1	実務家	司法書士
授業目的 概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発表にふさわしい題材の選出 2. 社会人を意識したプレゼン発表 3. 私生活と法のかかわりについて学ぶ 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：題材研究 1</p> <p>02：題材研究 2</p> <p>03：題材研究 3</p> <p>04：原稿作成 1</p> <p>05：法律概論①（労働法）</p> <p>06：原稿作成 2</p> <p>07：原稿作成 3</p> <p>08：スライド作成 1</p> <p>09：スライド作成 2</p> <p>10：法律概論②（民法）</p> <p>11：法律概論③（民法）</p> <p>12：スライド作成 3</p> <p>13：発表練習 1</p> <p>14：発表練習 2</p> <p>15：研究発表</p>				
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	研究課題を事前検討				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職場のマナー</p> <p>02：仕事の進め方</p> <p>03：挨拶と敬語①</p> <p>04：挨拶と敬語②</p> <p>05：電話応対マナー</p> <p>06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出）</p> <p>07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張）</p> <p>08：電話を取り次げない場合 3（電話中）</p> <p>09：電話を取り次げない場合 4（その他）</p> <p>10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方）</p> <p>11：電話の掛け方の基本</p> <p>12：電話の受け方応用（道案内等）</p> <p>13：電話応対のロールプレイ 1</p> <p>14：電話応対のロールプレイ 2</p> <p>15：電話応対のロールプレイ 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の基礎能力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>数的推理の仕事算を理解する</p> <p>数的推理の倍数と約数を理解する</p> <p>数的推理の割算と整数を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：仕事算①</p> <p>02：仕事算①、ニュートン算①</p> <p>03：ニュートン算②、復習</p> <p>04：仕事算、ニュートン算テスト</p> <p>05：倍数と約数①</p> <p>06：倍数と約数②</p> <p>07：割り算のあまり</p> <p>08：整数の性質①</p> <p>09：整数の性質②</p> <p>10：カレンダー</p> <p>11：魔法陣</p> <p>12：進法</p> <p>13：数列</p> <p>14：総まとめ①</p> <p>15：総まとめ②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	数的処理 V	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の問題演習力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>数的推理の仕事算の問題演習力を身に付ける</p> <p>数的推理の倍数と約数の問題演習力を身に付ける</p> <p>数的推理の割算と整数の問題演習力を身に付ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 仕事算演習</p> <p>02 : 仕事算実践問題演習</p> <p>03 : 仕事算、ニュートン算まとめ演習</p> <p>04 : 仕事算、ニュートン算確認テスト</p> <p>05 : 倍数と約数演習①</p> <p>06 : 倍数と約数演習②</p> <p>07 : 割り算の余り演習①</p> <p>08 : 割り算の余り演習②</p> <p>09 : 整数の性質演習①</p> <p>10 : 整数の性質演習②</p> <p>11 : 仕事算演習</p> <p>12 : 倍数と約数演習</p> <p>13 : 総まとめ演習①</p> <p>14 : 総まとめ演習②</p> <p>15 : 総まとめ演習③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科2年制					
授業科目	数的処理XI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して基礎的な空間認知能力を養い、立体幾何学の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 立体図形の問題を解き、解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>立体図形の問題の解法を知る 立体図形の問題が解ける 文章問題の重要単元の問題が解ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：サイコロ① 02：サイコロ② 03：サイコロ③ 04：サイコロ④ 05：積み木① 06：積み木② 07：積み木③ 08：積み木④ 09：切断・回転体① 10：切断・回転体② 11：切断・回転体③ 12：切断・回転体④ 13：対応まとめ 14：順序まとめ 15：立体図形 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	これまで学習した授業の復習を行うこと。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	応用数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な数的推理の出題方法を知る</p> <p>応用的な数的推理の解法を習得する</p> <p>応用的な数的推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 空間図形①</p> <p>02 : 空間図形②</p> <p>03 : 空間図形③</p> <p>04 : 空間図形演習①</p> <p>05 : 空間図形演習②</p> <p>06 : 空間図形演習③</p> <p>07 : 方程式、不定方程式①</p> <p>08 : 方程式、不定方程式演習</p> <p>09 : 不等式、過不足算①</p> <p>10 : 不等式、過不足算①</p> <p>11 : 不等式、過不足算演習</p> <p>12 : 方程式、不定方程式、不等式、過不足算演習</p> <p>13 : 総まとめ①</p> <p>14 : 総まとめ②</p> <p>15 : 総まとめ③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般知識演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 一般知識の演習と講義を通して公務員に必要な知識を習得する</p> <p>【概要】 一般知識の講義及び確認テストの実施</p>				
到達目標	<p>社会科学に関する知識を習得する</p> <p>人文科学に関する知識を習得する</p> <p>自然科学に関する知識を習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会科学（政治①）</p> <p>02：社会科学（経済①）</p> <p>03：人文科学（日本史①）</p> <p>04：人文科学（世界史①）</p> <p>05：自然科学（地学①）</p> <p>06：社会科学（政治②）</p> <p>07：社会科学（経済②）</p> <p>08：人文科学（日本史②）</p> <p>09：人文科学（世界史②）</p> <p>10：自然科学（地学②）</p> <p>11：社会科学（政治③）</p> <p>12：社会科学（経済③）</p> <p>13：人文科学（日本史③）</p> <p>14：人文科学（世界史③）</p> <p>15：自然科学（地学③）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般知識演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>日本史の理解を深める</p> <p>世界史の理解を深める</p> <p>倫理の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：人文科学（日本史①）</p> <p>02：人文科学（世界史① 中国史①）</p> <p>03：人文科学（思想② 第2章：西洋の近代思想）</p> <p>04：人文科学（日本史②）</p> <p>05：人文科学（世界史② 中国史②）</p> <p>06：人文科学（思想③ 第3章：現代思想）</p> <p>07：人文科学（日本史③）</p> <p>08：人文科学（世界史③ 中国史③）</p> <p>09：人文科学（思想④ 第4章：中国の思想）</p> <p>10：人文科学（日本史④）</p> <p>11：人文科学（世界史④ 中国史④）</p> <p>12：人文科学（思想⑤ 第5章：日本の思想）</p> <p>13：人文科学（日本史⑤）</p> <p>14：人文科学（世界史⑤ 中国史⑤）</p> <p>15：人文科学（思想⑥ 第6章：日本の近代思想）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般知識演習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>政治の理解を深める</p> <p>経済の理解を深める</p> <p>地理の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会科学（政治①）</p> <p>02：社会科学（経済①）</p> <p>03：人文科学（地理①）</p> <p>04：社会科学（政治②）</p> <p>05：社会科学（経済②）</p> <p>06：人文科学（地理②）</p> <p>07：社会科学（政治③）</p> <p>08：社会科学（経済③）</p> <p>09：人文科学（地理③）</p> <p>10：社会科学（政治④）</p> <p>11：社会科学（経済④）</p> <p>12：人文科学（地理④）</p> <p>13：社会科学（政治⑤）</p> <p>14：社会科学（経済⑤）</p> <p>15：人文科学（地理⑤）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般知識演習Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>生物の理解を深める</p> <p>地学の理解を深める</p> <p>社会の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自然科学（生物①）</p> <p>02：自然科学（地学①）</p> <p>03：社会科学（社会①）</p> <p>04：自然科学（生物②）</p> <p>05：自然科学（地学②）</p> <p>06：社会科学（社会②）</p> <p>07：自然科学（生物③）</p> <p>08：自然科学（地学③）</p> <p>09：社会科学（社会③）</p> <p>10：自然科学（生物④）</p> <p>11：自然科学（地学④）</p> <p>12：社会科学（社会④）</p> <p>13：自然科学（生物⑤）</p> <p>14：自然科学（地学⑤）</p> <p>15：社会科学（社会⑤）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	一般知識演習Ⅵ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 一般知識の演習と講義を通して公務員に必要な知識を習得する</p> <p>【概要】 一般知識の講義及び確認テストの実施</p>				
到達目標	<p>社会科学に関する知識を習得する</p> <p>人文科学に関する知識を習得する</p> <p>自然科学に関する知識を習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会科学（政治①）</p> <p>02：社会科学（経済①）</p> <p>03：人文科学（地理①）</p> <p>04：自然科学（生物①）</p> <p>05：社会科学（政治②）</p> <p>06：社会科学（経済②）</p> <p>07：人文科学（地理②）</p> <p>08：自然科学（生物②）</p> <p>09：社会科学（政治③）</p> <p>10：社会科学（経済③）</p> <p>11：人文科学（地理③）</p> <p>12：自然科学（生物③）</p> <p>13：社会科学（政治④）</p> <p>14：社会科学（経済④）</p> <p>15：人文科学（地理④）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	1	実務家	
授業目的	【目的】 面接に必要な基本的な力を身につける。				
概要	【概要】 プレゼンやグループディスカッションを使って面接の基礎力を身につける。				
到達目標	面接力の向上。 自己分析ができる。 プレゼン力の向上				
授業内容	回 01：自己紹介及びコミュニケーション力の養成 02：プレゼン作成① 03：プレゼン作成② 04：プレゼン作成③ 05：プレゼン作成④ 06：プレゼン力の向上① 07：プレゼン力の向上② 08：プレゼン力の向上③ 09：面接基礎① 10：面接基礎② 11：面接基礎③ 12：面接基礎④ 13：面接基礎⑤ 14：プレゼン作成⑤ 15：プレゼン作成⑥	回 16：プレゼン作成⑦ 17：自己分析① 18：自己分析② 19：自己分析③ 20：自己分析④ 21：自己分析⑤ 22：自己分析⑥ 23：個人面接対策① 24：個人面接対策② 25：個人面接対策③ 26：個人面接対策④ 27：グループプレゼン作成① 28：グループプレゼン作成② 29：グループプレゼン作成③ 30：グループプレゼン作成④			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	コミュニケーションスキルⅡ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習をを通して討論について学ぶ。エントリーシートの記入方法を身につける。</p> <p>【概要】 実際に討論を行い討論力を養う。公務員試験に向けてエントリーシートの記入方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>討論力の向上 協調性と問題解決力を養う エントリーシートが記入できる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：公務員受験説明</p> <p>02：YG 性格検査の実施</p> <p>03：エントリーシートの記入①</p> <p>04：エントリーシートの記入②</p> <p>05：エントリーシートの記入③</p> <p>06：エントリーシートの記入④</p> <p>07：エントリーシートの記入⑤</p> <p>08：集団討論対策①</p> <p>09：集団討論対策②</p> <p>10：集団討論対策③</p> <p>11：集団討論対策④</p> <p>12：集団討論対策⑤</p> <p>13：集団討論対策⑥</p> <p>14：集団討論対策⑦</p> <p>15：集団討論対策⑧</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	コミュニケーションスキルⅢ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員試験に向けて面接・プレゼン対策を行い実践的な力を身につける</p> <p>【概要】 本番を想定した面接・プレゼン対策を実施する</p>				
到達目標	<p>公務員試験に対応できる面接力を身につける</p> <p>公務員試験に対応できるプレゼン力を身につける</p> <p>公務員試験にふさわしい品格を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：身だしなみ・立ち居振る舞い</p> <p>02：インタビュー形式面接練習①</p> <p>03：インタビュー形式面接練習②</p> <p>04：インタビュー形式面接練習③</p> <p>05：インタビュー形式面接練習④</p> <p>06：インタビュー形式面接練習⑤</p> <p>07：インタビュー形式面接練習⑥</p> <p>08：集団面接①</p> <p>09：集団面接②</p> <p>10：集団面接③</p> <p>11：集団面接④</p> <p>12：集団面接⑤</p> <p>13：集団面接⑥</p> <p>14：グループ時事プレゼン①</p> <p>15：グループ時事プレゼン②</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 模擬試験及び作文演習を通して公務員に必要な教養や文章力を培う</p> <p>【概要】 模擬試験及び作文演習の実施</p>				
到達目標	<p>模擬試験により総合的な教養力を養う</p> <p>模擬試験により多角的な教養力を養う</p> <p>作文演習により文章力を養う</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験①</p> <p>02：模擬試験②</p> <p>03：模擬試験③</p> <p>04：模擬試験④</p> <p>05：模擬試験⑤</p> <p>06：模擬試験⑥</p> <p>07：模擬試験⑦</p> <p>08：模擬試験⑧</p> <p>09：模擬試験⑨</p> <p>10：模擬試験⑩</p> <p>11：模擬試験⑪</p> <p>12：模擬試験⑫</p> <p>13：模擬試験⑬</p> <p>14：模擬試験⑭</p> <p>15：模擬試験⑮</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮</p>		<p>回</p> <p>16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	公務員総合演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45</p>		<p>回</p> <p>16：模擬試験 46 17：模擬試験 47 18：模擬試験 48 19：模擬試験 49 20：模擬試験 50 21：模擬試験 51 22：模擬試験 52 23：模擬試験 53 24：模擬試験 54 25：模擬試験 55 26：模擬試験 56 27：模擬試験 57 28：模擬試験 58 29：模擬試験 59 30：総まとめ</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	総合学習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習し E S 作成ができる力を養成する</p> <p>【概要】 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT 活用力、の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT 活用力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解し、公務員試験に合格できる E S を作成できる力を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自己管理能力検定対策 02：自己管理能力検定 03：IT 活用力検定対策 04：IT 活用力検定 05：協調行動力検定 06：協調行動力検定 07：職業基礎学習 08：職業学習① 09：職業学習② 10：職業学習③ 11：職業学習④ 12：公務員試験概要説明① 13：公務員試験概要説明② 14：適性試験対策 15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	総合学習Ⅶ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習しES作成ができる力を養成する</p> <p>【概要】 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT活用力、の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT活用力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解し、公務員試験に合格できるESを作成できる力を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職業プレゼン作成①</p> <p>02：職業プレゼン作成②</p> <p>03：職業プレゼン作成③</p> <p>04：職業プレゼン作成③</p> <p>05：職業プレゼン発表</p> <p>06：志望動機作成①</p> <p>07：志望動機作成②</p> <p>08：志望動機作成③</p> <p>09：志望動機作成④</p> <p>10：公務員研究①</p> <p>11：面接対策①</p> <p>12：面接対策②</p> <p>13：面接対策③</p> <p>14：合格者座談会</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	簿記 3 級基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的～経営成績</p> <p>02：簿記一巡～勘定口座への記帳</p> <p>03：試算表の作成</p> <p>04：商品売買～販売諸掛</p> <p>05：前払金～当座預金</p> <p>06：自己振出小切手～手形貸付</p> <p>07：電子記録債権、演習</p> <p>08：有形固定資産～手形貸付金</p> <p>09：未収入金～差入保証金</p> <p>10：消費税～収益費用</p> <p>11：訂正仕分、演習</p> <p>12：演習解説①</p> <p>13：演習解説②（プレテスト）</p> <p>14：演習解説③（プレテスト）</p> <p>15：演習解説④（プレテスト）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。</p> <p>3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：聖徳太子の政治～律令体制の完成</p> <p>02：奈良時代</p> <p>03：平安時代①</p> <p>04：平安時代②～鎌倉時代</p> <p>05：室町時代</p> <p>06：戦国時代</p> <p>07：江戸時代①（武断政治）</p> <p>08：江戸時代②（文治政治～田沼政治）</p> <p>09：江戸時代③（寛政の改革～天保の改革）</p> <p>10：幕末～明治維新</p> <p>11：明治時代（自由民権運動～条約改正）</p> <p>12：明治時代（日清戦争～日露戦争）</p> <p>13：大正時代（第一次世界大戦～政党政治）</p> <p>14：大正～昭和時代（昭和初期の経済）</p> <p>15：昭和時代（太平洋戦争）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：西洋史①（第7章）</p> <p>02：西洋史②（第7章、第8章）</p> <p>03：西洋史③（第8章、第9章）</p> <p>04：西洋史④（第9章）</p> <p>05：西洋史⑤（第10章）</p> <p>06：西洋史⑥（第10章、第11章）</p> <p>07：西洋史⑦（第11章）</p> <p>08：西洋史⑧（第12章）</p> <p>09：西洋史⑨（第13章）</p> <p>10：西洋史⑩（第14章）</p> <p>11：西洋史⑪（第15章）</p> <p>12：西洋史⑫（第15章、第16章）</p> <p>13：西洋史⑬（第16章）</p> <p>14：西洋史⑭（第17章）</p> <p>15：西洋史⑮（第17章）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：地形①</p> <p>02：地形②</p> <p>03：地形③</p> <p>04：世界の気候・植生・土壌①</p> <p>05：世界の気候・植生・土壌②</p> <p>06：世界の気候・植生・土壌③</p> <p>07：1章問題演習</p> <p>08：世界の国々（アジア）①</p> <p>09：世界の国々（アジア）②</p> <p>10：5章1節問題演習</p> <p>11：世界の国々（ヨーロッパ）①</p> <p>12：世界の国々（ヨーロッパ）②</p> <p>13：世界の国々（北米・南米）①</p> <p>14：世界の国々（北米・南米）②</p> <p>15：5章3節4節問題演習</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。</p> <p>経済社会や経済史について説明ができる。</p> <p>現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：1章経済社会の変容と経済体制</p> <p>02：2章現代の企業</p> <p>03：3章市場メカニズム①</p> <p>04：3章市場メカニズム②～寡占市場</p> <p>05：4章国民所得計算</p> <p>06：5章経済成長と景気循環</p> <p>07：6章通貨制度～金融制度</p> <p>08：6章信用創造～金融政策</p> <p>09：7章財政の役割～財政制度①</p> <p>10：7章財政制度②～財政政策</p> <p>11：8章貿易と外国為替</p> <p>12：9章戦後の民主化～高度経済成長</p> <p>13：9章石油危機～現代の諸問題</p> <p>14：10章国際通貨体制～貿易の自由化</p> <p>15：10章地域的経済統合～国際経済の課題</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	速修社会科学 I C	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 1 章政治権力～国家論</p> <p>02 : 2 章権力分立～各国の政治制度</p> <p>03 : 3 章政党制～圧力団体</p> <p>04 : 5 章明治憲法～6 章公共の福祉</p> <p>05 : 7 章幸福追求権～8 章平等権</p> <p>06 : 9 章自由権の意義～学問の自由</p> <p>07 : 10 章経済的自由権～11 章身体的自由権</p> <p>08 : 12 章社会権～13 章受益権</p> <p>09 : 14 章憲法改正～15 章国会①</p> <p>10 : 16 章議院内閣制</p> <p>11 : 17 章司法権の帰属</p> <p>12 : 19 章地方自治</p> <p>13 : 15 章国会の復習</p> <p>14 : 16 章内閣の復習・天皇の国事行為</p> <p>15 : 17 章裁判所の復習</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：公務員試験で出やすい単元の紹介、1章1節</p> <p>02：2章1節</p> <p>03：2章1節</p> <p>04：2章2節</p> <p>05：2章2節</p> <p>06：2章3節</p> <p>07：2章3節</p> <p>08：2章確認テスト</p> <p>09：6章1節</p> <p>10：6章3節</p> <p>11：6章4節</p> <p>12：6章5節</p> <p>13：6章6節</p> <p>14：6章問題演習</p> <p>15：6章確認テスト</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	速修数的処理 VC	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】</p>				
到達目標	<p>濃度割合の基礎を身に付ける</p> <p>速さ・仕事算の基礎を身に付ける</p> <p>場合の数・確率の基礎を身に付ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：濃度基礎①</p> <p>02：濃度基礎②</p> <p>03：割合と比①</p> <p>04：速さ基礎①</p> <p>05：速さ基礎②</p> <p>06：仕事算基礎①</p> <p>07：年齢・平均算の基礎①</p> <p>08：場合の数基礎①</p> <p>09：確率基礎①</p> <p>10：整数基礎①</p> <p>11：整数基礎②</p> <p>12：方程式・不定方程式①</p> <p>13：平面図形基礎①</p> <p>14：平面図形基礎②</p> <p>15：平面図形基礎③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	速修数的処理VIC	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の問題演習力を身に付ける</p>				
到達目標	<p>濃度割合の問題演習力を身に付ける</p> <p>速さ・仕事算の問題演習力を身に付ける</p> <p>場合の数・確率の問題演習力を身に付ける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：濃度演習①</p> <p>02：濃度演習②</p> <p>03：割合と比演習①</p> <p>04：速さ演習①</p> <p>05：速さ演習②</p> <p>06：仕事算演習①</p> <p>07：年齢・平均算の演習①</p> <p>08：場合の数演習①</p> <p>09：確率演習①</p> <p>10：整数演習①</p> <p>11：整数演習②</p> <p>12：方程式・不定方程式演習①</p> <p>13：平面図形演習①</p> <p>14：平面図形演習②</p> <p>15：平面図形演習③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	速修数的処理ⅦC	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的	【目的】 与えられた情報を系統的に整理し、柔軟な思考力と空間認知能力を養う。				
概要	【概要】 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。				
到達目標	判断推理の文章問題を解くことができる。 判断推理の図形問題を解くことができる。 解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：集合① 04：集合② 05：順序① 06：順序② 07：順序③ 08：順序④ 09：位置・方位① 10：位置・方位② 11：位置・方位③ 12：位置・方位④ 13：対応① 14：対応② 15：勝敗				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	速修数的処理ⅧC	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と空間認知能力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：うその発言①</p> <p>02：うその発言②</p> <p>03：うその発言③</p> <p>04：軌跡①</p> <p>05：軌跡②</p> <p>06：正多面体・展開図①</p> <p>07：正多面体・展開図②</p> <p>08：正多面体・展開図③</p> <p>09：正多面体・展開図④</p> <p>10：サイコロ①</p> <p>11：サイコロ②</p> <p>12：積み木①</p> <p>13：積み木②</p> <p>14：切断・回転体①</p> <p>15：切断・回転体②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	文章理解 I C	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想及び日本文学を学び、幅広い視野を身につける</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想及び日本文学を学ぶ</p>				
到達目標	<p>現代文の文法を理解する</p> <p>長文読解のための手法を身につける</p> <p>哲学者・思想家の思考や日本文学に関心を持つ</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国語文法①</p> <p>02：国語文法②</p> <p>03：日本文学史</p> <p>04：要旨把握①</p> <p>05：要旨把握②</p> <p>06：文章整序①</p> <p>07：文章整序②</p> <p>08：空欄補充①</p> <p>09：空欄補充②</p> <p>10：内容合致</p> <p>11：ギリシアの思想</p> <p>12：西洋近代思想</p> <p>13：西洋現代思想</p> <p>14：東洋思想、日本の思想①</p> <p>15：日本の思想②、日本の近代思想</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	速修コミュニケーションスキル I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 短期間で面接試験を突破する力を身につける</p> <p>【概要】 集団面接の実施や集団討論の機会を作る</p>				
到達目標	<p>エントリーシートの記入ができる。</p> <p>面接で自分をしっかりアピールできる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：公務員受験説明</p> <p>02：エントリーシートの記入①</p> <p>03：エントリーシートの記入②</p> <p>04：エントリーシートの記入③</p> <p>05：エントリーシートの記入④</p> <p>06：エントリーシートの記入⑤</p> <p>07：集団討論対策①</p> <p>08：集団討論対策②</p> <p>09：集団討論対策③</p> <p>10：身だしなみ・立ち居振る舞い</p> <p>11：集団面接①</p> <p>12：集団面接②</p> <p>13：集団面接③</p> <p>14：集団面接④</p> <p>15：集団面接⑤</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2年制					
授業科目	一般知識演習 I C	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習をする</p>				
到達目標	<p>人文科学（日本史、世界史、地理）の理解を深める</p> <p>社会科学（政治）の理解を深める</p> <p>社会科学（経済）の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治（重要分野の復習①）</p> <p>02：経済（重要分野の復習①）</p> <p>03：日本史（重要分野の復習①）</p> <p>04：世界史（重要分野の復習①）</p> <p>05：地理（重要分野の復習①）</p> <p>06：政治（重要分野の復習②）</p> <p>07：経済（重要分野の復習②）</p> <p>08：日本史（重要分野の復習②）</p> <p>09：世界史（重要分野の復習②）</p> <p>10：地理（重要分野の復習②）</p> <p>11：政治（重要分野の復習③）</p> <p>12：経済（重要分野の復習③）</p> <p>13：日本史（重要分野の復習③）</p> <p>14：世界史（重要分野の復習③）</p> <p>15：地理（重要分野の復習③）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名 公務員科 2 年制					
授業科目	総合学習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習し E S 作成ができる力を養成する</p> <p>【概要】 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT 活用力、の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT 活用力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解し、公務員試験に合格できる E S を作成できる力を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自己管理能力検定対策 02：自己管理能力検定 03：IT 活用力検定対策 04：IT 活用力検定 05：協調行動力検定 06：協調行動力検定 07：職業基礎学習 08：職業学習① 09：職業学習② 10：職業学習③ 11：職業学習④ 12：公務員試験概要説明① 13：公務員試験概要説明② 14：適性試験対策 15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

学科名					
授業科目	キャリアデザイン I (就職・企業実習)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的	【目的】 就職内定へ向けた就職活動について学習する。				
概要	【概要】 就職活動について理解する。				
到達目標	就職活動に関する一般的な知識を身につける。 就職活動の準備が整っている。 企業実習により業界理解を深める。				
授業内容	回 01：就職の心構え 02：自己 PR、自己分析① 03：自己 PR、自己分析② 04：自己 PR、自己分析③ 05：自己 PR、自己分析④ 06：自己 PR、自己分析⑤ 07：自己 PR、自己分析⑥ 08：自己 PR、自己分析⑦ 09：自己 PR、自己分析⑧ 10：説明会 11：選考試験 12：面接試験① 13：面接試験② 14：挨拶・お辞儀・座り方 15：入退室方法	回 16：履歴書① 17：履歴書② 18：履歴書③ 19：企業へのアクセス 20：業界研究 21：企業研究 22：事前研究① 23：事前研究② 24：事前研究③ 25：事前討論 26：講演① 27：講演② 28：講演③ 29：グループ討論 30：まとめ			
テキスト	大原出版教材・プリント				
参考文献					
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	前回までの内容を復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	キャリアデザインⅡ（一般常識・時事用語）	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職筆記試験対策として、優良企業への就職に必要な知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動における筆記試験を通過するための言語・非言語分野、一般常識及び時事を学習する。</p>				
到達目標	<p>言語分野の知識を身に付ける。</p> <p>非言語分野の解法を身に付ける。</p> <p>一般常識・時事に興味を持ち情報収集ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国語①</p> <p>02：国語②</p> <p>03：国語③</p> <p>04：数学①</p> <p>05：数学②</p> <p>06：数学③</p> <p>07：英語①</p> <p>08：英語②</p> <p>09：英語③</p> <p>10：社会①</p> <p>11：社会②</p> <p>12：社会③</p> <p>13：時事①</p> <p>14：時事②</p> <p>15：時事③・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト参考文献				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする				

Syllabus

					学科名
授業科目	ビジネスマナー（活動編）	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職活動において必要な立ち居振る舞い・挨拶・敬語を養い、会社訪問時の電話の掛け方を身に付ける。</p> <p>【概要】 ビジネス現場で想定される実践的な知識や技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>第一印象の重要性を理解する。 社会人として適切な言葉を選択し、会話をすることができる。 会社訪問時の電話予約ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：挨拶の必要性 02：基本的な言葉遣い 03：クッション言葉 04：状況に応じた言葉遣い 05：笑顔 06：お辞儀 07：立ち居振る舞い 08：基本的な電話対応 09：かけ方の基本 10：電話の掛け方①<予約> 11：電話の掛け方②<予約> 12：電話の掛け方③<予約> 13：電話の掛け方④<予約> 14：電話の掛け方⑤<予約> 15：電話の掛け方⑥<変更></p>	<p>回</p> <p>16：電話の掛け方⑦<辞退> 17：総合演習① 18：総合演習② 19：総合演習③ 20：総合演習④ 21：総合演習⑤ 22：総合演習⑥ 23：総合演習⑦ 24：総合演習⑧ 25：総合演習⑨ 26：総合演習⑩ 27：総合演習⑪ 28：総合演習⑫ 29：総合演習⑬ 30：総合演習⑭</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	前回までの内容を復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	Excel 入門 I (サーティファイ 演習)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 Excel 初心者が、基本的なワークシートの作成、グラフ、データベースの機能を円滑、そして高度に使用できる。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の基本操作確認と問題演習を通じて Excel の機能を理解、活用する。</p>				
到達目標	<p>データ入力、数式など基本ワークシートの作成ができる。</p> <p>ワークシート上で関数を利用した表の作成ができる。</p> <p>グラフ、図形、データベース機能などの応用的な操作ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : Excel の基本</p> <p>02 : データ編集</p> <p>03 : データ入力・練習問題 1, 2</p> <p>04 : 表の編集</p> <p>05 : 基本的な表の作成練習・練習問題 3</p> <p>06 : ブックの印刷</p> <p>07 : 基本的な表の作成・練習問題 4</p> <p>08 : グラフと図形の作成</p> <p>09 : 図形等を組み合わせた表・練習問題 5</p> <p>10 : ブックの管理・関数 1・練習問題 6</p> <p>11 : 関数 2</p> <p>12 : 関数を利用した表 1・練習問題 7</p> <p>13 : 関数を利用した表 2</p> <p>14 : データベース機能</p> <p>15 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	Excel 入門Ⅱ（サーティファイ 検 定対策）	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 Excel の主な機能を理解し、目的や状況に合わせた表、グラフ、データベース等を作成できる。</p> <p>【概要】 Excel の機能と操作方法を、演習問題を通じて身につける。</p>				
到達目標	<p>検定試験が取得可能なレベルのスキルを身につける。</p> <p>Excel の機能を効果的に使い、職場においてパソコンを使用し業務や作業の効率化を図れるレベルを目指す。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合学習問題</p> <p>02：練習問題 1</p> <p>03：練習問題 2</p> <p>04：練習問題 3</p> <p>05：模擬問題 1</p> <p>06：模擬問題 2</p> <p>07：模擬問題 3</p> <p>08：模擬問題 4</p> <p>09：模擬問題 5</p> <p>10：模擬問題 6</p> <p>11：模擬問題 7</p> <p>12：過去問演習 1</p> <p>13：過去問演習 2</p> <p>14：過去問演習 3</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	Word 入門 I (サーティファイ 演習)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 Word 初心者が、基本的な編集機能、罫線機能、図形機能を中心に詳細な操作をすることができる。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の基本操作確認と問題演習を通じて Word の機能を理解、活用する。</p>				
到達目標	<p>基本的な編集機能、罫線機能、図形機能を中心に詳細な操作をすることができる。 パソコン、ワープロ、ビジネス文書に関する基礎的な技能を有している。 効果的に Word を活用できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : Word の基本</p> <p>02 : 文字の入力と編集の基本操作</p> <p>03 : タイピング・練習問題 1, 2</p> <p>04 : 文書の編集 1</p> <p>05 : 文書の編集 2</p> <p>06 : タイピング練習・練習問題 3</p> <p>07 : 文書の印刷・練習問題 4</p> <p>08 : 文書の作成 1</p> <p>09 : 文書の作成 2</p> <p>10 : ビジネス文書の作成・練習問題 5</p> <p>11 : 表を使った文書の作成 1</p> <p>12 : ビジネス文書の作成・練習問題 6</p> <p>13 : 図形や画像を使った文書の作成 1</p> <p>14 : 図形や画像を使った文書の作成 2</p> <p>15 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	Word 入門Ⅱ (サーティファイ 検定 対策)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 Word の主な機能を利用し、目的や状況に応じたビジネス文書等を作成・編集できる。</p> <p>【概要】 Word の機能と操作方法を、演習問題を通じて身につける。</p>				
到達目標	<p>検定試験が取得可能なレベルのスキルを身につける。</p> <p>Word の機能を効果的に使い、職場においてパソコンを使用し業務や作業の効率化を図れるレベルを目指す。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合学習問題</p> <p>02：練習問題 1</p> <p>03：練習問題 2</p> <p>04：練習問題 3</p> <p>05：模擬問題 1</p> <p>06：模擬問題 2</p> <p>07：模擬問題 3</p> <p>08：模擬問題 4</p> <p>09：模擬問題 5</p> <p>10：模擬問題 6</p> <p>11：模擬問題 7</p> <p>12：過去問演習 1</p> <p>13：過去問演習 2</p> <p>14：過去問演習 3</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	PowerPoint 入門 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 PowerPoint 初心者が基本的なスライド作成、画像や図形、アニメーション機能の活用をし、発表をすることができる</p> <p>【概要】 Microsoft PowerPoint の基本操作確認と問題演習を通じて PowerPoint の機能を理解、活用する。</p>				
到達目標	<p>基本的なスライドの作成ができる。</p> <p>画像や図形、アニメーションの活用ができる。</p> <p>好印象を与えられる発表ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : PowerPoint の基本</p> <p>02 : プレゼンテーションの基本操作</p> <p>03 : スライドの基本操作・練習問題 1、2</p> <p>04 : テキスト、画像の書式設定</p> <p>05 : 図形の書式設定・練習問題 3</p> <p>06 : 表の作成と編集・練習問題 4</p> <p>07 : グラフの作成と編集</p> <p>08 : SmartArt の作成と編集・練習問題 5</p> <p>09 : 3D モデルとメディアの挿入</p> <p>10 : 印刷設定・練習問題 6</p> <p>11 : スライド全体のデザイン</p> <p>12 : 画面切り替えとアニメーション</p> <p>13 : プレゼンテーション①</p> <p>14 : プレゼンテーション②</p> <p>15 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療請求事務基礎 I (外来)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術およびレセプト作成技術（筆記）について、主に外来診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の基礎として、医療保険請求の仕組み、外来レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>基本的な保険制度が理解できる。 カルテとレセプトの基礎知識が理解できる。 レセプト（外来）が作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：医療保険制度・保険診療の仕組み 02：カルテ・レセプトの上書き等 03：問題演習（医療保険） 04：基本診療料（初診料） 05：問題演習（初診料） 06：基本診療料（再診料） 07：問題演習（再診料） 08：基本診療料（外来診療料） 09：問題演習（外来診療料） 10：総合問題演習（基本診療料） 11：医学管理 1 12：医学管理 2 13：問題演習（医学管理） 14：投薬料 1 15：投薬料 2</p>		<p>回</p> <p>16：投薬料 3 17：問題演習（投薬料 1） 18：問題演習（投薬料 2） 19：問題演習（投薬料 3） 20：注射料 1 21：注射料 2 22：注射料 3 23：問題演習（注射料 1） 24：問題演習（注射料 2） 25：問題演習（注射料 3） 26：処置料 1 27：処置料 2 28：処置料 3 29：問題演習（処置料 1） 30：問題演習（処置料 2）</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療請求事務基礎 I (外来)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術およびレセプト作成技術（筆記）について、主に外来診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の基礎として、医療保険請求の仕組み、外来レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>基本的な保険制度が理解できる。 カルテとレセプトの基礎知識が理解できる。 レセプト（外来）が作成できる。</p>				
授業内容	回 01：手術料 1 02：手術料 2 03：問題演習（手術料 1） 04：問題演習（手術料 2） 05：検体検査 1 06：検体検査 2 07：検体検査 3 08：検体検査 4 09：問題演習（検体検査 1） 10：問題演習（検体検査 2） 11：生体検査 1 12：生体検査 2 13：生体検査 3 14：生体検査 4 15：問題演習（生体検査）	回 16：総合問題演習（検査 1） 17：総合問題演習（検査 2） 18：画像診断 1 19：画像診断 2 20：画像診断 3 21：問題演習（画像診断 1） 22：問題演習（画像診断 2） 23：総合問題演習（レセプト作成 1） 24：総合問題演習（レセプト作成 2） 25：総合問題演習（レセプト作成 3） 26：総合問題演習（レセプト作成 4） 27：総合問題演習（レセプト作成 5） 28：総合問題演習（レセプト作成 6） 29：総合問題演習（レセプト作成 7） 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ（外来）	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術およびレセプト作成技術（筆記）について、主に外来診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の基礎として、外来レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>カルテとレセプトの基礎知識が理解できる。 レセプト（外来）が作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：基礎答練 1 02：基礎答練 2 03：基礎答練 3 04：基礎答練 4 05：基礎答練 5 06：直前答練 1 07：直前答練 2 08：直前答練 3 09：直前答練 4 10：直前答練 5 11：過去問題演習 1 12：過去問題演習 2 13：過去問題演習 3 14：過去問題演習 4 15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	医療請求事務応用 I (入院)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	6	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術、レセプト作成技術（筆記）について、主に入院診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の応用として、医療保険請求の仕組み、入院レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な診療報酬の算定方法等を理解できる。 レセプト（入院）が作成できる。</p>				
授業内容	回 01：初診料 02：入院料（病院） 03：入院料（診療所） 04：問題演習（入院料 1） 05：問題演習（入院料 2） 06：食事 07：問題演習（食事） 08：総合問題演習（入院・食事） 09：投薬料 10：問題演習（投薬料） 11：注射料 12：問題演習（注射料 1） 13：問題演習（注射料 2） 14：総合問題演習（レセプト作成 1） 15：総合問題演習（レセプト作成 2）	回 16：処置料 17：問題演習（処置料） 18：総合問題演習（レセプト作成 3） 19：手術料 20：問題演習（手術料） 21：輸血料 22：問題演習（輸血料） 23：麻酔料 1 24：麻酔料 2 25：問題演習（麻酔料 1） 26：問題演習（麻酔料 2） 27：総合問題演習（手術・麻酔） 28：総合問題演習（レセプト作成 4） 29：総合問題演習（レセプト作成 5） 30：総合問題演習（レセプト作成 6）			
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	医療請求事務応用 I (入院)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	6	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術、レセプト作成技術（筆記）について、主に入院診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の応用として、医療保険請求の仕組み、入院レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な診療報酬の算定方法等を理解できる。 レセプト（入院）が作成できる。</p>				
授業内容	回 01：検体検査 02：問題演習（検体検査 1） 03：問題演習（検体検査 2） 04：生体検査 1 05：生体検査 2 06：問題演習（生体検査 1） 07：問題演習（生体検査 2） 08：病理診断 09：問題演習（病理診断） 10：総合問題演習（検査 1） 11：総合問題演習（検査 2） 12：総合問題演習（レセプト作成 7） 13：総合問題演習（レセプト作成 8） 14：総合問題演習（レセプト作成 9） 15：総合問題演習（レセプト作成 10）	回 16：画像診断（X-P） 17：画像診断（CT・MRI） 18：問題演習（画像診断 1） 19：問題演習（画像診断 2） 20：在宅 21：問題演習（在宅） 22：処方箋料 23：問題演習（処方箋料） 24：リハビリテーション料 25：問題演習（リハビリテーション科） 26：精神療法 27：問題演習（精神療法） 28：総合問題演習（レセプト作成 11） 29：総合問題演習（レセプト作成 12） 30：総合問題演習（レセプト作成 13）			
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	医療請求事務応用 I (入院)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	6	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術、レセプト作成技術（筆記）について、主に入院診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の応用として、医療保険請求の仕組み、入院レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な診療報酬の算定方法等を理解できる。 レセプト（入院）が作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合問題演習（レセプト作成 14） 02：総合問題演習（レセプト作成 15） 03：総合問題演習（レセプト作成 16） 04：総合問題演習（レセプト作成 17） 05：総合問題演習（レセプト作成 18） 06：総合問題演習（レセプト作成 19） 07：総合問題演習（レセプト作成 20） 08：総合問題演習（レセプト作成 21） 09：総合問題演習（レセプト作成 22） 10：総合問題演習（レセプト作成 23） 11：総合問題演習（レセプト作成 24） 12：総合問題演習（レセプト作成 25） 13：総合問題演習（レセプト作成 26） 14：総合問題演習（レセプト作成 27） 15：総合問題演習（レセプト作成 28）</p>	<p>回</p> <p>16：総合問題演習（レセプト作成 29） 17：総合問題演習（レセプト作成 30） 18：総合問題演習（レセプト作成 31） 19：総合問題演習（レセプト作成 32） 20：総合問題演習（レセプト作成 33） 21：総合問題演習（レセプト作成 34） 22：総合問題演習（レセプト作成 35） 23：総合問題演習（レセプト作成 36） 24：総合問題演習（レセプト作成 37） 25：総合問題演習（レセプト作成 38） 26：総合問題演習（レセプト作成 39） 27：総合問題演習（レセプト作成 40） 28：総合問題演習（レセプト作成 41） 29：総合問題演習（レセプト作成 42） 30：総まとめ</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ（入院）	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務従事者として必要な技能である保険請求の算定技術、レセプト作成技術（筆記）について、主に入院診療を中心に学習する。</p> <p>【概要】 診療報酬請求事務の応用として、医療保険請求の仕組み、入院レセプトの作成を学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な診療報酬の算定方法等を理解できる。 レセプト（入院）が作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：基礎答練 1 02：基礎答練 2 03：基礎答練 3 04：基礎答練 4 05：基礎答練 5 06：直前答練 1 07：直前答練 2 08：直前答練 3 09：直前答練 4 10：直前答練 5 11：過去問題演習 1 12：過去問題演習 2 13：過去問題演習 3 14：過去問題演習 4 15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	患者接遇演習 A	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 患者接遇等の実務演習を通じて応用力や病院実習に安全かつ効果的に参加するための基礎能力を養う。</p> <p>【概要】 患者接遇等の実務演習を通じて応用力を身につける。</p>				
到達目標	<p>実習への不安を軽減し、自信を構築する。 個々の学生の課題を把握し、改善する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：研修①言葉遣い、病院研究 02：研修②業務の確認/手話 1 03：医事コンピュータ実習基礎① 04：研修③訊く・説明する/手話 2 05：医事コンピュータ実習基礎② 06：研修④自分からの言動/手話 3 07：医事コンピュータ実習基礎③ 08：研修⑤指示を受ける/手話 4 09：医事コンピュータ実習基礎④ 10：研修⑥医療人としての行動 1/手話 5 11：医事コンピュータ実習基礎⑤ 12：実習前研修⑦医療人としての行動 2 13：医事コンピュータ実習基礎⑥ 14：研修⑧医療人としての行動 3 15：研修⑨トラブル対応/手話 6</p>		<p>回</p> <p>16：医事コンピュータ実習基礎⑦ 17：研修⑩医療人としての行動 4 18：医事コンピュータ実習基礎⑧ 19：研修⑪医療人としての行動 5 20：総合演習 1 21：総合演習 2 22：総合演習 3 23：総合演習 4 24：総合演習 5 25：総合演習 6 26：総合演習 7 27：総合演習 8 28：総合演習 9 29：総合演習 10 30：総まとめ</p>		
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	患者接遇演習 B	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 授業内で患者対応の疑似体験をし、実務の流れや問題解決・判断力を養う。</p> <p>【概要】 患者接遇等の実務演習を通じて応用力を身につける。</p>				
到達目標	<p>患者対応力の育成。</p> <p>個々の学生の課題を把握し、改善する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合演習応用 1</p> <p>02：医事コンピュータ実習応用①</p> <p>03：総合演習応用 2</p> <p>04：医事コンピュータ実習応用②</p> <p>05：総合演習応用 3</p> <p>06：医事コンピュータ実習応用③</p> <p>07：総合演習応用 4</p> <p>08：医事コンピュータ実習応用④</p> <p>09：総合演習応用 5</p> <p>10：医事コンピュータ実習応用⑤</p> <p>11：総合演習応用 6</p> <p>12：医事コンピュータ実習応用⑥</p> <p>13：総合演習応用 7</p> <p>14：医事コンピュータ実習応用⑦</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

学科名					
授業科目	医事コンピュータ（外来）	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	38	単位	5	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務業務の効率化を目的として、医事コンピュータを用いた診療報酬請求業務および基本的なコンピュータシステム知識と操作技能を学習する。</p> <p>【概要】 医事コンピュータ技能検定で出題される知識を理解し、合格基準に達するための能力を養成する。</p>				
到達目標	<p>医療保険制度や法律の概要を理解できる。</p> <p>コンピュータシステムの基礎知識を理解できる。</p> <p>コンピュータシステムを使いレセプト（外来）が作成できる。</p>				
授業内容	回 01：医療知識総合 1 02：医療知識総合 2 03：医療知識総合 3 04：医療知識問題演習 1 05：医療知識問題演習 2 06：医療知識問題演習 3 07：医療知識問題演習 4 08：医療知識問題演習 5 09：コンピュータシステム総合 1 10：コンピュータシステム総合 2 11：コンピュータシステム総合 3 12：コンピュータシステム総合 4 13：コンピュータシステム総合問題演習 1 14：コンピュータシステム総合問題演習 2 15：コンピュータシステム総合問題演習 3	回 16：コンピュータシステム総合問題演習 4 17：レセプト問題演習 1 18：レセプト問題演習 2 19：レセプト問題演習 3 20：応用レセプト問題演習 1 21：応用レセプト問題演習 2 22：応用レセプト問題演習 3 23：応用レセプト問題演習 4 24：過去問題演習 1 25：過去問題演習 2 26：過去問題演習 3 27：過去問題演習 4 28：過去問題演習 5 29：過去問題演習 6 30：過去問題演習 7			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医事コンピュータ（外来）	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	38	単位	5	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療事務業務の効率化を目的として、医事コンピュータを用いた診療報酬請求業務および基本的なコンピュータシステム知識と操作技能を学習する。</p> <p>【概要】 医事コンピュータ技能検定で出題される知識を理解し、合格基準に達するための能力を養成する。</p>				
到達目標	<p>医療保険制度や法律の概要を理解できる</p> <p>コンピュータシステムの基礎知識を理解できる。</p> <p>コンピュータシステムを使いレセプト（外来）が作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：過去問題演習 8</p> <p>02：過去問題演習 9</p> <p>03：総合問題演習 10</p> <p>04：総合問題演習 11</p> <p>05：総合問題演習 12</p> <p>06：総合問題演習 13</p> <p>07：総合問題演習 14</p> <p>08：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療秘書概論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療機関の事務員として勤務するために必要な医療知識を学習し、医師や看護師などと円滑に業務を進められるようにする。</p> <p>【概要】 医療事務従事者として必要である患者接遇知識や医療保障制度、体の基本構造や疾病・治療法等を理解するための知識を総合的に学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な患者接遇の理解と医療用語に関する知識を持つ。</p> <p>医療保障制度の構造と主要制度を理解し、制度への対応を適切に行う。</p> <p>体の基本構造や疾病・治療法等を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：医療秘書①医療秘書の仕事と役割</p> <p>02：DMT①脳・眼科系</p> <p>03：関連法規①健康保険法 1</p> <p>04：関連法規②健康保険法 2</p> <p>05：医療秘書②接遇・言葉遣い</p> <p>06：DMT②神経系・耳鼻咽喉科系</p> <p>07：関連法規③健康保険法 3</p> <p>08：DMT③神経系・循環器系</p> <p>09：医療秘書③ビジネス文書と文書作成 1</p> <p>10：関連法規④健康保険法以外の保険法</p> <p>11：DMT④循環器系・皮膚</p> <p>12：関連法規⑤健康保険法 4</p> <p>13：医療秘書④ビジネス文書と文書作成 2</p> <p>14：DMT⑤呼吸器系</p> <p>15：関連法規⑥社会保障・医療保障制度</p>	<p>回</p> <p>16：DMT⑥消化器系 1</p> <p>17：医療秘書⑤患者接遇の基本</p> <p>18：関連法規⑦医療従事者関係各法</p> <p>19：DMT⑦消化器系 2</p> <p>20：関連法規⑧医療保障制度</p> <p>21：DMT⑧骨格・筋系</p> <p>22：医療秘書⑥秘書業務、患者受付の実際</p> <p>23：関連法規⑨後期高齢者医療制度</p> <p>24：DMT⑨泌尿生殖器系</p> <p>25：関連法規⑩介護保険制度・公費負担制度</p> <p>26：DMT⑩代謝・内分泌系</p> <p>27：DMT⑪体液、血液系・免疫系</p> <p>28：総合問題演習 1</p> <p>29：総合問題演習 2</p> <p>30：総合問題演習 3</p>			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書・大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	医療秘書概論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療機関の事務員として勤務するために必要な医療知識を学習し、医師や看護師などと円滑に業務を進められるようにする。</p> <p>【概要】 医療事務従事者として必要である患者接遇知識や医療保障制度、体の基本構造や疾病・治療法等を理解するための知識を総合的に学習する。</p>				
到達目標	<p>応用的な患者接遇の理解と医療用語に関する知識を持つ。</p> <p>医療保障制度の構造と主要制度（公的医療・高齢者医療等）を理解し、制度への対応を適切に行う。</p> <p>体の基本構造や疾病・治療法等を理解する。</p>				
授業内容	回 01：総合問題演習 4 02：総合問題演習 5 03：総合問題演習 6 04：総合問題演習 7 05：総合問題演習 8 06：総合問題演習 9 07：総合問題演習 10 08：総合問題演習 11 09：総合問題演習 12 10：総合問題演習 13 11：総合問題演習 14 12：総合問題演習 15 13：総合問題演習 16 14：総合問題演習 17 15：総合問題演習 18	回 16：総合問題演習 19 17：総合問題演習 20 18：総合問題演習 21 19：総合問題演習 22 20：総合問題演習 23 21：総合問題演習 24 22：総合問題演習 25 23：総合問題演習 26 24：総合問題演習 27 25：総合問題演習 28 26：総合問題演習 29 27：総合問題演習 30 28：総合問題演習 31 29：総合問題演習 32 30：総まとめ			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書・大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	3級商業簿記入門 (2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎知識を身に付け、小規模企業における財務諸表等の作成ができるようにする。</p> <p>【概要】 日商簿記検定3級のうち、主要な範囲を学習する。</p>				
到達目標	<p>小規模企業の取引が理解できる。</p> <p>小規模企業の仕訳ができるようになる。</p> <p>小規模企業の財務諸表を作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的</p> <p>02：簿記一巡①</p> <p>03：簿記一巡②</p> <p>04：商品売買Ⅰ</p> <p>05：商品売買Ⅱ</p> <p>06：決算①</p> <p>07：現金及び預金</p> <p>08：手形/電債/その他の決算整理①</p> <p>09：税金/その他の決算整理②</p> <p>10：債権・債務①</p> <p>11：債権・債務②/訂正仕訳/固定資産</p> <p>12：その他の決算整理③</p> <p>13：株式会社の資本</p> <p>14：その他の決算整理④</p> <p>15：決算②・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・ テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 情報処理技術者として必要な IT 知識(テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系)を習得する。</p> <p>【概要】 情報処理技術者として必要な IT 知識を学び、IT を活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>テクノロジについての基本知識が理解できている。</p> <p>マネジメントについての基本知識が理解できている。</p> <p>ストラテジについての基本知識が理解できている。</p>				
授業内容	回 01 : 基礎理論① 02 : 基礎理論② 03 : 基礎理論③ 04 : 基礎理論④ 05 : 基礎理論⑤ 06 : アルゴリズムとプログラミング① 07 : アルゴリズムとプログラミング② 08 : アルゴリズムとプログラミング③ 09 : アルゴリズムとプログラミング④ 10 : コンピュータ構成要素① 11 : コンピュータ構成要素② 12 : コンピュータ構成要素③ 13 : コンピュータ構成要素④ 14 : システム構成要素① 15 : システム構成要素②	回 16 : システム構成要素③ 17 : ソフトウェア① 18 : ソフトウェア② 19 : ソフトウェア③ 20 : ソフトウェア④ 21 : ハードウェア① 22 : ヒューマンインタフェース① 23 : マルチメディア① 24 : データベース① 25 : データベース② 26 : データベース③ 27 : データベース④ 28 : データベース⑤ 29 : データベース⑥ 30 : データベース⑦			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 情報処理技術者として必要な IT 知識(テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系)を習得する。</p> <p>【概要】 情報処理技術者として必要な IT 知識を学び、IT を活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>テクノロジについての基本知識が理解できている。</p> <p>マネジメントについての基本知識が理解できている。</p> <p>ストラテジについての基本知識が理解できている。</p>				
授業内容	回 01 : ネットワーク① 02 : ネットワーク② 03 : ネットワーク③ 04 : ネットワーク④ 05 : ネットワーク⑤ 06 : ネットワーク⑥ 07 : セキュリティ① 08 : セキュリティ② 09 : セキュリティ③ 10 : セキュリティ④ 11 : セキュリティ⑤ 12 : セキュリティ⑥ 13 : セキュリティ⑦ 14 : セキュリティ⑧ 15 : システム開発技術①	回 16 : システム開発技術② 17 : システム開発技術③ 18 : システム開発技術④ 19 : ソフトウェア開発技術① 20 : プロジェクトマネジメント① 21 : プロジェクトマネジメント② 22 : サービスマネジメント① 23 : システム監査① 24 : システム戦略① 25 : システム戦略② 26 : システム企画① 27 : システム企画② 28 : 技術戦略マネジメント① 29 : ビジネスインダストリ① 30 : ビジネスインダストリ②			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 情報処理技術者として必要な IT 知識(テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系)を習得する。</p> <p>【概要】 情報処理技術者として必要な IT 知識を学び、IT を活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>テクノロジについての基本知識が理解できている。</p> <p>マネジメントについての基本知識が理解できている。</p> <p>ストラテジについての基本知識が理解できている。</p>				
授業内容	回 01 : 企業活動① 02 : 企業活動② 03 : 企業活動③ 04 : 法務① 05 : 法務② 06 : 項目別演習① 07 : 項目別演習② 08 : 項目別演習③ 09 : 項目別演習④ 10 : 項目別演習⑤ 11 : 項目別演習⑥ 12 : 項目別演習⑦ 13 : 項目別演習⑧ 14 : 項目別演習⑨ 15 : 項目別演習⑩	回 16 : 項目別演習⑪ 17 : 項目別演習⑫ 18 : 項目別演習⑬ 19 : 過去問演習① 20 : 過去問演習② 21 : 過去問演習③ 22 : 過去問演習④ 23 : 過去問演習⑤ 24 : 過去問演習⑥ 25 : 過去問演習⑦ 26 : 過去問演習⑧ 27 : 過去問演習⑨ 28 : 過去問演習⑩ 29 : 過去問演習⑪ 30 : 過去問演習⑫			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 情報処理技術者として必要な IT 知識(テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系)を習得する。</p> <p>【概要】 情報処理技術者として必要な IT 知識を学び、IT を活用したサービス、製品、システム及びソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>テクノロジについての基本知識が理解できている。</p> <p>マネジメントについての基本知識が理解できている。</p> <p>ストラテジについての基本知識が理解できている。</p>				
授業内容	回 01 : 過去問演習⑬ 02 : 過去問演習⑭ 03 : 過去問演習⑮ 04 : 過去問演習⑯ 05 : 過去問演習⑰ 06 : 過去問演習⑱ 07 : 過去問演習⑲ 08 : 過去問演習⑳ 09 : 答案練習① 10 : 答案練習② 11 : 答案練習③ 12 : 答案練習④ 13 : 答案練習⑤ 14 : 答案練習⑥ 15 : 答案練習⑦	回 16 : 答案練習⑧ 17 : 答案練習⑨ 18 : 答案練習⑩ 19 : 答案練習⑪ 20 : 答案練習⑫ 21 : 答案練習⑬ 22 : 答案練習⑭ 23 : 答案練習⑮ 24 : 答案練習⑯ 25 : 答案練習⑰ 26 : 答案練習⑱ 27 : 答案練習⑲ 28 : 答案練習⑳ 29 : 最終確認① 30 : 総まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	Web プログラミング I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的	<p>【目的】 HTML や CSS を学習し、Web ページを制作するための基礎を身につける。</p>				
概要	<p>【概要】 HTML と CSS を用いた Web ページの仕組みについて学習し、簡単な Web ページの制作演習を行う。</p>				
到達目標	<p>HTML、CSS の基礎が理解できる。 簡単な Web ページを作成することができる。 既存の Web ページの仕組みを理解している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 環境設定・Web 基礎理解① 02 : Web 基礎理解② 03 : Web 基礎理解③ 04 : HTML 構造基礎① 05 : HTML 構造基礎② 06 : HTML 構造基礎③ 07 : HTML 要素活用① 08 : HTML 要素活用② 09 : HTML 要素活用③ 10 : HTML 要素活用④ 11 : HTML のまとめ 12 : HTML 総合演習① 13 : HTML 総合演習② 14 : CSS 構造基礎① 15 : CSS 構造基礎②</p>		<p>回</p> <p>16 : CSS 構造基礎③ 17 : CSS 要素活用① 18 : CSS 要素活用② 19 : CSS 要素活用③ 20 : CSS 要素活用④ 21 : CSS 要素活用⑤ 22 : CSS を用いたレイアウト① 23 : CSS を用いたレイアウト② 24 : CSS を用いたレイアウト③ 25 : CSS を用いたレイアウト④ 26 : CSS のまとめ 27 : CSS 総合演習① 28 : CSS 総合演習② 29 : シングルカラムの Web サイト制作① 30 : シングルカラムの Web サイト制作②</p>		
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	Web プログラミング I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的	<p>【目的】 HTML や CSS を学習し、Web ページを制作するための基礎を身につける。</p>				
概要	<p>【概要】 HTML と CSS を用いた Web ページの仕組みについて学習し、簡単な Web ページの制作演習を行う。</p>				
到達目標	<p>HTML、CSS の基礎が理解できる。 簡単な Web ページを作成することができる。 既存の Web ページの仕組みを理解している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : シングルカラムの Web サイト制作③ 02 : シングルカラムの Web サイト制作④ 03 : シングルカラムの Web サイト制作⑤ 04 : レスポンシブの Web サイト制作① 05 : レスポンシブの Web サイト制作② 06 : レスポンシブの Web サイト制作③ 07 : レスポンシブの Web サイト制作④ 08 : 外部メディアの利用 09 : Web クリエイター能力認定試験対策① 10 : Web クリエイター能力認定試験対策② 11 : Web クリエイター能力認定試験対策③ 12 : Web クリエイター能力認定試験対策④ 13 : Web クリエイター能力認定試験対策⑤ 14 : Web クリエイター能力認定試験対策⑥ 15 : コード模写 (入門) ①</p>	<p>回</p> <p>16 : コード模写 (入門) ② 17 : コード模写 (入門) ③ 18 : コード模写 (入門) ④ 19 : コード模写 (入門) ⑤ 20 : コード模写 (初級) ① 21 : コード模写 (初級) ② 22 : コード模写 (初級) ③ 23 : コード模写 (初級) ④ 24 : コード模写 (初級) ⑤ 25 : コード模写 (中級) ① 26 : コード模写 (中級) ② 27 : コード模写 (中級) ③ 28 : コード模写 (中級) ④ 29 : コード模写 (中級) ⑤ 30 : 総まとめ</p>			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	デジタルデザイン I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスやサービスの価値を伝え、課題を解決するための思考法・手段としてのデザインを学び、実践できる力を身につける。</p> <p>【概要】 ユーザー視点に立ったデザインの設計や表現が行えるよう段階的に学習する。 目的に応じたアプリケーションの操作を習得すると同時にデザインの制作演習を行う。</p>				
到達目標	<p>デザインについての基礎知識を理解する。 アプリケーションの基本操作について理解する。 ユーザー視点に立ったデザインを意識して制作することができる。</p>				
授業内容	回 01：デザインについて・基礎知識 02：デザイン基本原則 03：デザイン基本原則 04：Illustrator 初期設定 05：Illustrator 基本操作 06：Illustrator 基本操作 07：Illustrator 基本操作 08：Illustrator 基本操作 09：Illustrator 基本操作 10：文字ツール 11：文字ツール 12：文字ツール 13：レイアウトについて 14：レイアウトについて 15：レイアウトについて	回 16：レイアウトについて 17：UI 基礎 18：UI 設計 19：UI 設計 20：UI 設計 21：UI 設計 22：Photoshop 初期設定 23：Photoshop 基本操作 24：Photoshop 基本操作 25：Photoshop 基本操作 26：Photoshop 基本操作 27：Photoshop 基本操作 28：生成 AI について 29：プロンプトについて 30：生成 AI 演習			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

					学科名
授業科目	デジタルデザイン I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスやサービスの価値を伝え、課題を解決するための思考法・手段としてのデザインを学び、実践できる力を身につける。</p> <p>【概要】 ユーザー視点に立ったデザインの設計や表現が行えるよう段階的に学習する。 目的に応じたアプリケーションの操作を習得すると同時にデザインの制作演習を行う。</p>				
到達目標	<p>デザインについての基礎知識を理解する。 アプリケーションの基本操作について理解する。 ユーザー視点に立ったデザインを意識して制作することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：生成 AI 演習</p> <p>02：生成 AI 演習</p> <p>03：ロゴについて</p> <p>04：演習（ロゴ）</p> <p>05：演習（ロゴ）</p> <p>06：演習（ロゴ）</p> <p>07：演習（ロゴ）</p> <p>08：演習（プロフィール）</p> <p>09：演習（プロフィール）</p> <p>10：演習（プロフィール）</p> <p>11：演習（プロフィール）</p> <p>12：演習（名刺）</p> <p>13：演習（名刺）</p> <p>14：演習（名刺）</p> <p>15：演習（名刺）</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 アルゴリズム及び情報セキュリティの基本知識を学び、情報技術者として必要な能力を習得する。</p> <p>【概要】 基本情報技術者試験対策の学習を通してアルゴリズムの表現方法や解法、情報セキュリティの目的、考え方、技術及び運用管理などを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>アルゴリズムについての基礎知識が理解できる。</p> <p>情報セキュリティについての基礎知識が理解できる。</p> <p>基本情報技術者試験科目 B の試験内容を理解できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : アルゴリズムと擬似言語</p> <p>02 : 擬似言語①</p> <p>03 : 擬似言語②</p> <p>04 : 擬似言語③</p> <p>05 : 配列①</p> <p>06 : 配列②</p> <p>07 : 探索①</p> <p>08 : 探索②</p> <p>09 : リスト①</p> <p>10 : リスト②</p> <p>11 : スタックとキュー</p> <p>12 : 木構造</p> <p>13 : ハッシュ法</p> <p>14 : 整列①</p> <p>15 : 整列②</p>	<p>回</p> <p>16 : 整列③</p> <p>17 : 整列④</p> <p>18 : 関数①</p> <p>19 : 関数②</p> <p>20 : オブジェクト</p> <p>21 : 文字列処理①</p> <p>22 : 文字列処理②</p> <p>23 : 情報セキュリティ①</p> <p>24 : 情報セキュリティ②</p> <p>25 : 情報セキュリティ③</p> <p>26 : 情報セキュリティ④</p> <p>27 : 情報セキュリティ⑤</p> <p>28 : 総合答案練習①</p> <p>29 : 総合答案練習②</p> <p>30 : 総合答案練習③</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	IT 知識基礎Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 アルゴリズム及び情報セキュリティの基本知識を学び、情報技術者として必要な能力を習得する。</p> <p>【概要】 基本情報技術者試験対策の学習を通してアルゴリズムの表現方法や解法、情報セキュリティの目的、考え方、技術及び運用管理などを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>アルゴリズムについての基礎知識が理解できる。</p> <p>情報セキュリティについての基礎知識が理解できる。</p> <p>基本情報技術者試験科目 B の試験内容を理解できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合答案練習④</p> <p>02：総合答案練習⑤</p> <p>03：総合答案練習⑥</p> <p>04：総合答案練習⑦</p> <p>05：総合答案練習⑧</p> <p>06：総合答案練習⑨</p> <p>07：直前答案練習①</p> <p>08：直前答案練習②</p> <p>09：直前答案練習③</p> <p>10：直前答案練習④</p> <p>11：直前答案練習⑤</p> <p>12：直前答案練習⑥</p> <p>13：直前答案練習⑦</p> <p>14：直前答案練習⑧</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	Web プログラミング A	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 JavaScript を用いた動きのある Web ページを制作する技術を身につけるとともに、アルゴリズムについて理解を深める。</p> <p>【概要】 JavaScript の基礎を学び、動きのある Web ページの制作演習および簡単なアルゴリズムのコーディング演習を行う。</p>				
到達目標	<p>JavaScript の基礎が理解できる。</p> <p>動きのある Web ページを作成することができる。</p> <p>簡単なアルゴリズムを JavaScript で表現できる。</p>				
授業内容	回 01 : 基本文法① 02 : 基本文法② 03 : 基本文法③ 04 : 条件判断① 05 : 条件判断② 06 : 繰り返し① 07 : 繰り返し② 08 : ユーザー定義関数① 09 : ユーザー定義関数② 10 : コーディング演習 (基礎) ① 11 : コーディング演習 (基礎) ② 12 : コーディング演習 (基礎) ③ 13 : コーディング演習 (基礎) ④ 14 : オブジェクト① 15 : オブジェクト②	回 16 : オブジェクト③ 17 : 配列① 18 : 配列② 19 : 配列③ 20 : コーディング演習 (配列) ① 21 : コーディング演習 (配列) ② 22 : コーディング演習 (配列) ③ 23 : コーディング演習 (配列) ④ 24 : コーディング演習 (配列) ⑤ 25 : コーディング演習 (探索) ① 26 : コーディング演習 (探索) ② 27 : コーディング演習 (整列) ① 28 : コーディング演習 (整列) ② 29 : コーディング演習 (整列) ③ 30 : コーディング演習 (文字列処理) ①			
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

					学科名
授業科目	Web プログラミング A	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 JavaScript を用いた動きのある Web ページを制作する技術を身につけるとともに、アルゴリズムについて理解を深める。</p> <p>【概要】 JavaScript の基礎を学び、動きのある Web ページの制作演習および簡単なアルゴリズムのコーディング演習を行う。</p>				
到達目標	<p>JavaScript の基礎が理解できる。</p> <p>動きのある Web ページを作成することができる。</p> <p>簡単なアルゴリズムを JavaScript で表現できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : コーディング演習 (文字列処理) ②</p> <p>02 : コーディング演習 (文字列処理) ③</p> <p>03 : クラスの定義・継承①</p> <p>04 : クラスの定義・継承②</p> <p>05 : コーディング演習 (リスト・木) ①</p> <p>06 : コーディング演習 (リスト・木) ②</p> <p>07 : JavaScript 検定試験対策①</p> <p>08 : JavaScript 検定試験対策②</p> <p>09 : JavaScript 検定試験対策③</p> <p>10 : JavaScript 検定試験対策④</p> <p>11 : DOM 操作①</p> <p>12 : DOM 操作②</p> <p>13 : DOM 操作③</p> <p>14 : DOM 操作④</p> <p>15 : 総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	デジタルデザインⅡ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスやサービスの価値を伝え、課題を解決するための思考法・手段としてのデザインを学び、実践できる力を身につける。</p> <p>【概要】 前期で習得したデザインの知識や考え方、アプリケーション操作の応用的内容を学習する。また、グループワークの課題を通じてチーム間でのコミュニケーションや協調性、主体的な行動力を養う。</p>				
到達目標	<p>アプリケーション操作の基本技術について理解する。 ビジネスにおいて有効なデザインの考え方、伝え方について理解する。 課題解決という目的のためのデザインを制作することができる。</p>				
授業内容	回 01 : Illustrator アピアランスについて 02 : Illustrator アピアランスについて 03 : Illustrator アピアランスについて 04 : 動画 基礎知識 05 : Premiere Pro 基本操作 06 : Premiere Pro 基本操作 07 : Premiere Pro 基本操作 08 : Premiere Pro 基本操作 09 : Premiere Pro 基本操作 10 : Premiere Pro 基本操作 11 : ユーザー・クライアント目線について 12 : 印刷用の画像データ処理 13 : 印刷用のデザインデータ処理 14 : 使用素材のライセンス 15 : 演習 (表紙デザイン)	回 16 : 演習 (表紙デザイン) 17 : 演習 (表紙デザイン) 18 : 演習 (表紙デザイン) 19 : 演習 (表紙デザイン) 20 : 演習 (表紙デザイン) 21 : 演習 (ポートフォリオ) 22 : 演習 (ポートフォリオ) 23 : 演習 (ポートフォリオ) 24 : 演習 (ポートフォリオ) 25 : 演習 (ポートフォリオ) 26 : 演習 (ポートフォリオ) 27 : 企画アイデアの考え方 (現状把握) 28 : 企画アイデアの考え方 (課題発見) 29 : 企画アイデアの考え方 (コンセプト立案) 30 : 演習 (企画アイデア)			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	デジタルデザインⅡ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスやサービスの価値を伝え、課題を解決するための思考法・手段としてのデザインを学び、実践できる力を身につける。</p> <p>【概要】 前期で習得したデザインの知識や考え方、アプリケーション操作の応用的内容を学習する。また、グループワークの課題を通じてチーム間でのコミュニケーションや協調性、主体的な行動力を養う。</p>				
到達目標	<p>アプリケーション操作の基本技術について理解する。 ビジネスにおいて有効なデザインの考え方、伝え方について理解する。 課題解決という目的のためのデザインを制作することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：演習（企画アイデア） 02：演習（企画アイデア） 03：演習（企画アイデア） 04：演習（企画アイデア） 05：演習（企画アイデア） 06：演習（企画アイデア） 07：演習（企画アイデア） 08：演習（企画アイデア） 09：演習（企画アイデア） 10：演習（企画アイデア） 11：演習（企画アイデア） 12：演習（企画アイデア） 13：演習（企画アイデア） 14：演習（企画アイデア） 15：企画アイデア プレゼンテーション</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	制作実習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 制作プロセス（調査・設計・実装・改善・発表）を通して、実践的な制作力と課題解決力を身に付ける。</p> <p>【概要】 テーマに基づき成果物を制作する。 リサーチ・設計・スケジューリングを行った上で制作を進め、最終的に制作物を発表し、制作意図や工夫点を説明する。</p>				
到達目標	<p>制作テーマの背景や目的を理解し、必要な構成や機能を整理できる。 設計に基づき計画的に制作を進め、成果物を完成させることができる。 制作物の意図や工夫点を第三者に説明し、振り返ることができる。</p>				
授業内容	回 01：制作プロセスの理解 02：技術・表現研究① 03：技術・表現研究② 04：技術・表現研究③ 05：設計① 06：設計② 07：設計③ 08：設計④ 09：設計⑤ 10：設計⑥ 11：計画① 12：計画② 13：制作① 14：制作② 15：制作③	回 16：制作④ 17：制作⑤ 18：制作⑥ 19：制作⑦ 20：制作⑧ 21：制作⑨ 22：制作⑩ 23：制作⑪ 24：制作⑫ 25：制作⑬ 26：制作⑭ 27：制作⑮ 28：制作⑯ 29：制作⑰ 30：制作⑱			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	制作実習	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 制作プロセス（調査・設計・実装・改善・発表）を通して、実践的な制作力と課題解決力を身に付ける。</p> <p>【概要】 テーマに基づき成果物を制作する。 リサーチ・設計・スケジューリングを行った上で制作を進め、最終的に制作物を発表し、制作意図や工夫点を説明する。</p>				
到達目標	<p>制作テーマの背景や目的を理解し、必要な構成や機能を整理できる。</p> <p>設計に基づき計画的に制作を進め、成果物を完成させることができる。</p> <p>制作物の意図や工夫点を第三者に説明し、振り返ることができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：制作⑰</p> <p>02：制作⑱</p> <p>03：制作㉑</p> <p>04：制作㉒</p> <p>05：制作㉓</p> <p>06：制作㉔</p> <p>07：制作㉕</p> <p>08：制作㉖</p> <p>09：制作㉗</p> <p>10：制作㉘</p> <p>11：制作㉙</p> <p>12：制作㉚</p> <p>13：発表準備</p> <p>14：発表①</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	事前調査および授業内容の復習と試作を行うこと				

Syllabus

学科名					
授業科目	3級商業簿記基礎Ⅱ(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>簿記の基本原則を理解している。</p> <p>基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：簿記一巡① 03：簿記一巡② 04：商品売買Ⅰ 05：商品売買Ⅱ① 06：商品売買Ⅱ② 07：現金及び預金① 08：現金及び預金② 09：手形 10：有形固定資産 11：その他の債権及び債務① 12：その他の債権及び債務② 13：税金 14：訂正仕訳 15：株式会社の資本	回 16：決算及び繰越商品及び仕入の決算整理 17：精算表 18：英米式決算法 19：有形固定資産の決算整理① 20：有形固定資産の決算整理② 21：有形固定資産の決算整理③ 22：受取手形及び売掛金の決算整理① 23：受取手形及び売掛金の決算整理② 24：受取手形及び売掛金の決算整理③ 25：費用及び収益の決算整理① 26：費用及び収益の決算整理② 27：費用及び収益の決算整理③ 28：現金過不足及び現金の決算整理 29：当座借越の振替え、貯蔵品の決算整理 30：消費税の決算整理、法人税等の決算整理			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

Syllabus

学科名					
授業科目	3級商業簿記基礎Ⅱ(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>簿記の基本原則を理解している。</p> <p>基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：損益計算書及び貸借対照表①</p> <p>02：損益計算書及び貸借対照表②</p> <p>03：損益計算書及び貸借対照表③</p> <p>04：仕訳帳及び総勘定元帳</p> <p>05：現金出納帳</p> <p>06：当座預金出納帳</p> <p>07：小口現金出納帳</p> <p>08：仕入帳及び売上帳</p> <p>09：商品有高帳</p> <p>10：売掛金元帳及び買掛金元帳</p> <p>11：受取手形記入帳及び支払手形記入帳</p> <p>12：固定資産台帳、補助簿の相関関係</p> <p>13：伝票会計①</p> <p>14：伝票会計②</p> <p>15：伝票会計③</p>	<p>回</p> <p>16：確認テスト</p> <p>17：確認テスト 解説</p> <p>18：項目別問題演習①</p> <p>19：項目別問題演習②</p> <p>20：項目別問題演習③</p> <p>21：項目別問題演習④</p> <p>22：項目別問題演習⑤</p> <p>23：項目別問題演習⑥</p> <p>24：項目別問題演習⑦</p> <p>25：項目別問題演習⑧</p> <p>26：項目別問題演習⑨</p> <p>27：項目別問題演習⑩</p> <p>28：項目別問題演習⑪</p> <p>29：項目別問題演習⑫</p> <p>30：項目別問題演習⑬</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

Syllabus

					学科名
授業科目	3級商業簿記基礎Ⅱ(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	75	単位	5	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>簿記の基本原則を理解している。</p> <p>基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：項目別問題演習⑭</p> <p>02：項目別問題演習⑮</p> <p>03：項目別問題演習⑯</p> <p>04：項目別問題演習⑰</p> <p>05：項目別問題演習⑱</p> <p>06：項目別問題演習⑲</p> <p>07：項目別問題演習⑳</p> <p>08：項目別問題演習㉑</p> <p>09：項目別問題演習㉒</p> <p>10：項目別問題演習㉓</p> <p>11：項目別問題演習㉔</p> <p>12：項目別問題演習㉕</p> <p>13：項目別問題演習㉖</p> <p>14：項目別問題演習㉗</p> <p>15：まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

Syllabus

学科名					
授業科目	3級簿記総合(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記3級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p>【概要】 日商簿記3級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記3級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>日商簿記3級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>日商簿記検定3級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：答案練習① 02：答案練習①解説 03：答案練習② 04：答案練習②解説 05：答案練習③ 06：答案練習③解説 07：答案練習④ 08：答案練習④解説 09：答案練習⑤ 10：答案練習⑤解説 11：答案練習⑥ 12：答案練習⑥解説 13：答案練習⑦ 14：答案練習⑦解説 15：答案練習⑧	回 16：答案練習⑧解説 17：直前答案練習① 18：直前答案練習①解説 19：直前答案練習② 20：直前答案練習②解説 21：直前答案練習③ 22：直前答案練習③解説 23：直前答案練習④ 24：直前答案練習④解説 25：直前答案練習⑤ 26：直前答案練習⑤解説 27：直前答案練習⑥ 28：直前答案練習⑥解説 29：直前答案練習⑦ 30：直前答案練習⑦解説、まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級商業簿記Ⅱ基礎(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 財務諸表の作成における、基本的な日々の会計処理および決算処理の記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 株式会社が作成する財務諸表に記載する資産・負債・純資産・収益・費用の増減に関する各取引の記帳方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>簿記一巡の手続きのうち、株式会社における基本的な処理及び記帳方法を理解する。</p> <p>企業における投資額のうち資産と費用に区分けする処理及び記帳方法を費用配分の原則に基づき理解する。</p> <p>直接的な営業活動以外で、中小企業において活発的に行われている取引の処理及び記帳方法を理解する。</p>				
授業内容	回 01：総論① 02：総論② 03：総論③ 04：収益と費用① 05：収益と費用② 06：収益と費用③ 07：棚卸資産① 08：棚卸資産② 09：棚卸資産③ 10：現金預金① 11：現金預金② 12：現金預金③ 13：債権債務① 14：債権債務② 15：債権債務③	回 16：有価証券① 17：有価証券② 18：有価証券③ 19：有価証券④ 20：有価証券⑤ 21：有価証券⑥ 22：有形固定資産① 23：有形固定資産② 24：有形固定資産③ 25：有形固定資産④ 26：有形固定資産⑤ 27：有形固定資産⑥ 28：リース会計① 29：リース会計② 30：リース会計③			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	2級商業簿記Ⅱ基礎(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 財務諸表の作成における、基本的な日々の会計処理および決算処理の記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 株式会社が作成する財務諸表に記載する資産・負債・純資産・収益・費用の増減に関する各取引の記帳方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>簿記一巡の手続きのうち、株式会社における基本的な処理及び記帳方法を理解する。</p> <p>企業における投資額のうち資産と費用に区分けする処理及び記帳方法を費用配分の原則に基づき理解する。</p> <p>直接的な営業活動以外で、中小企業において活発的に行われている取引の処理及び記帳方法を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：その他の固定資産①</p> <p>02：その他の固定資産②</p> <p>03：その他の固定資産③</p> <p>04：為替換算会計①</p> <p>05：為替換算会計②</p> <p>06：為替換算会計③</p> <p>07：引当金①</p> <p>08：引当金②</p> <p>09：引当金③</p> <p>10：法人税等①</p> <p>11：法人税等②</p> <p>12：法人税等③</p> <p>13：総復習①</p> <p>14：総復習②</p> <p>15：まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	2級商業簿記Ⅱ応用(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 特殊な会計処理の記帳方法および財務諸表の雛形を理解し、財務諸表の作成が行えるようにする。</p> <p>【概要】 税効果会計や企業結合等の特殊処理を理解するとともに、報告書類となる財務諸表の作成が行えるスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<p>株式会社を理解し、財務諸表における基本的な純資産の部の処理及び記帳方法を理解する。 会社再編等において活発的に行われている、企業結合の処理及び記帳方法から合算財務諸表の作成まで理解する。 個別論点ごとの演習、解説を通じて総合問題を解答するための力を養う。</p>				
授業内容	回 01：税効果会計① 02：税効果会計② 03：税効果会計③ 04：株式会社の純資産① 05：株式会社の純資産② 06：株式会社の純資産③ 07：企業結合 08：株主資本等変動計算書① 09：株主資本等変動計算書② 10：連結会計① 11：連結会計② 12：連結会計③ 13：連結会計④ 14：連結会計⑤ 15：連結会計⑥		回 16：連結会計⑦ 17：連結会計⑧ 18：連結会計⑨ 19：連結会計⑩ 20：連結会計⑪ 21：連結会計⑫ 22：本支店会計① 23：本支店会計② 24：本支店会計③ 25：項目別問題演習① 26：項目別問題演習② 27：項目別問題演習③ 28：項目別問題演習④ 29：項目別問題演習⑤ 30：項目別問題演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	2級商業簿記Ⅱ応用(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 特殊な会計処理の記帳方法および財務諸表の雛形を理解し、財務諸表の作成が行えるようにする。</p> <p>【概要】 税効果会計や企業結合等の特殊処理を理解するとともに、報告書類となる財務諸表の作成が行えるスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<p>株式会社を理解し、財務諸表における基本的な純資産の部の処理及び記帳方法を理解する。 会社再編等において活発的に行われている、企業結合の処理及び記帳方法から合算財務諸表の作成まで理解する。 個別論点ごとの演習、解説を通じて総合問題を解答するための力を養う。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：項目別問題演習⑦</p> <p>02：項目別問題演習⑧</p> <p>03：項目別問題演習⑨</p> <p>04：項目別問題演習⑩</p> <p>05：項目別問題演習⑪</p> <p>06：項目別問題演習⑫</p> <p>07：項目別問題演習⑬</p> <p>08：項目別問題演習⑭</p> <p>09：項目別問題演習⑮</p> <p>10：項目別問題演習⑯</p> <p>11：項目別問題演習⑰</p> <p>12：項目別問題演習⑱</p> <p>13：項目別問題演習⑲</p> <p>14：項目別問題演習⑳</p> <p>15：まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅱ基礎(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 顧客の注文に応じて製品を製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 個別受注生産形態における原価の分類集計から財務諸表の作成方法まで学ぶ。</p>				
到達目標	<p>製品製造においてどのような原価が発生しているか説明出来る。</p> <p>個別受注生産形態における原価計算手続に従って、製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。</p> <p>製品原価の計算をより正確かつ迅速に行うことが出来る。</p>				
授業内容	回 01：工業簿記の基礎① 02：工業簿記の基礎② 03：工業簿記の基礎③ 04：工業簿記における記帳① 05：工業簿記における記帳② 06：工業簿記における記帳③ 07：材料費会計① 08：材料費会計② 09：材料費会計③ 10：労務費会計① 11：労務費会計② 12：労務費会計③ 13：経費会計① 14：経費会計② 15：経費会計③	回 16：製造間接費会計① 17：製造間接費会計② 18：製造間接費会計③ 19：製造間接費会計④ 20：製造間接費会計⑤ 21：製造間接費会計⑥ 22：製造間接費会計⑦ 23：製造間接費会計⑧ 24：製造間接費会計⑨ 25：単純個別原価計算① 26：単純個別原価計算② 27：単純個別原価計算③ 28：工企業の財務諸表① 29：工企業の財務諸表② 30：工企業の財務諸表③			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅱ基礎(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 顧客の注文に応じて製品を製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 個別受注生産形態における原価の分類集計から財務諸表の作成方法まで学ぶ。</p>				
到達目標	<p>製品製造においてどのような原価が発生しているか説明出来る。</p> <p>個別受注生産形態における原価計算手続に従って、製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。</p> <p>製品原価の計算をより正確かつ迅速に行うことが出来る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：工場会計の独立①</p> <p>02：工場会計の独立②</p> <p>03：工場会計の独立③</p> <p>04：部門別計算①</p> <p>05：部門別計算②</p> <p>06：部門別計算③</p> <p>07：部門別計算④</p> <p>08：部門別計算⑤</p> <p>09：部門別計算⑥</p> <p>10：部門別計算⑦</p> <p>11：部門別計算⑧</p> <p>12：部門別計算⑨</p> <p>13：総復習①</p> <p>14：総復習②</p> <p>15：まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅱ応用(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 同じ規格の製品を大量に製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 大量見込生産形態における原価の分類集計や、利益計画の手法などを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>大量見込生産形態における原価計算制度に従って製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。</p> <p>予定した原価と実際の原価を比較・分析し、原価低減活動に役立てることが出来る。</p> <p>原価の分類や利益の仕組みを応用して、利益計画することが出来る。</p>				
授業内容	回 01：総合原価計算総論 02：単純総合原価計算① 03：単純総合原価計算② 04：単純総合原価計算③ 05：単純総合原価計算④ 06：単純総合原価計算⑤ 07：減損及び仕損① 08：減損及び仕損② 09：減損及び仕損③ 10：工程別総合原価計算① 11：工程別総合原価計算② 12：工程別総合原価計算③ 13：組別・等級別総合原価計算① 14：組別・等級別総合原価計算② 15：組別・等級別総合原価計算③	回 16：標準原価計算① 17：標準原価計算② 18：標準原価計算③ 19：標準原価計算④ 20：標準原価計算⑤ 21：標準原価計算⑥ 22：CVP分析① 23：CVP分析② 24：CVP分析③ 25：直接原価計算① 26：直接原価計算② 27：直接原価計算③ 28：項目別問題演習① 29：項目別問題演習② 30：項目別問題演習③			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅱ応用(2-3)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 同じ規格の製品を大量に製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。</p> <p>【概要】 大量見込生産形態における原価の分類集計や、利益計画の手法などを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>大量見込生産形態における原価計算制度に従って製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。</p> <p>予定した原価と実際の原価を比較・分析し、原価低減活動に役立てることが出来る。</p> <p>原価の分類や利益の仕組みを応用して、利益計画することが出来る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：項目別問題演習④</p> <p>02：項目別問題演習⑤</p> <p>03：項目別問題演習⑥</p> <p>04：項目別問題演習⑦</p> <p>05：項目別問題演習⑧</p> <p>06：項目別問題演習⑨</p> <p>07：項目別問題演習⑩</p> <p>08：項目別問題演習⑪</p> <p>09：項目別問題演習⑫</p> <p>10：項目別問題演習⑬</p> <p>11：項目別問題演習⑭</p> <p>12：項目別問題演習⑮</p> <p>13：項目別問題演習⑯</p> <p>14：項目別問題演習⑰</p> <p>15：まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級簿記総合Ⅱ(2-3)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 会計帳簿の記入や製品の原価集計をより正確かつ迅速に行えるよう、演習、解説、復習を繰り返し、中小企業の経理業務が行えるようにする。</p> <p>【概要】 個別論点ごとに演習、解説を行ってから総合問題を演習し、処理速度と正確性の向上を図る。</p>				
到達目標	<p>株式会社の帳簿記入を適切に行い、財務諸表作成までの作業を体系的に行うことができる。</p> <p>工企業の原価計算手続を理解し、コスト管理に役立てることができる。</p> <p>日商簿記検定2級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：答案練習① 02：答案練習①解説 03：答案練習② 04：答案練習②解説 05：答案練習③ 06：答案練習③解説 07：答案練習④ 08：答案練習④解説 09：答案練習⑤ 10：答案練習⑤解説 11：答案練習⑥ 12：答案練習⑥解説 13：答案練習⑦ 14：答案練習⑦解説 15：答案練習⑧	回 16：答案練習⑧解説 17：答案練習⑨ 18：答案練習⑨解説 19：答案練習⑩ 20：答案練習⑩解説 21：答案練習⑪ 22：答案練習⑪解説 23：答案練習⑫ 24：答案練習⑫解説 25：答案練習⑬ 26：答案練習⑬解説 27：答案練習⑭ 28：答案練習⑭解説 29：答案練習⑮ 30：答案練習⑮解説			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級簿記総合Ⅱ(2-3)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 会計帳簿の記入や製品の原価集計をより正確かつ迅速に行えるよう、演習、解説、復習を繰り返し、中小企業の経理業務が行えるようにする。</p> <p>【概要】 個別論点ごとに演習、解説を行ってから総合問題を演習し、処理速度と正確性の向上を図る。</p>				
到達目標	<p>株式会社の帳簿記入を適切に行い、財務諸表作成までの作業を体系的に行うことができる。</p> <p>工企業の原価計算手続を理解し、コスト管理に役立てることができる。</p> <p>日商簿記検定2級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：答案練習⑯ 02：答案練習⑯解説 03：答案練習⑰ 04：答案練習⑰解説 05：答案練習⑱ 06：答案練習⑱解説 07：答案練習⑲ 08：答案練習⑲解説 09：答案練習⑳ 10：答案練習⑳解説 11：答案練習㉑ 12：答案練習㉑解説 13：答案練習㉒ 14：答案練習㉒解説 15：答案練習㉓	回 16：答案練習㉓解説 17：公開模試 18：公開模試解説 19：直前答案練習① 20：直前答案練習①解説 21：直前答案練習② 22：直前答案練習②解説 23：直前答案練習③ 24：直前答案練習③解説 25：直前答案練習④ 26：直前答案練習④解説 27：直前答案練習⑤ 28：直前答案練習⑤解説 29：直前答案練習⑥ 30：直前答案練習⑥解説、まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	3級商業簿記入門 (2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎知識を身に付け、小規模企業における財務諸表等の作成ができるようにする。</p> <p>【概要】 日商簿記検定3級のうち、主要な範囲を学習する。</p>				
到達目標	<p>小規模企業の取引が理解できる。</p> <p>小規模企業の仕訳ができるようになる。</p> <p>小規模企業の財務諸表を作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的</p> <p>02：簿記一巡①</p> <p>03：簿記一巡②</p> <p>04：商品売買Ⅰ</p> <p>05：商品売買Ⅱ</p> <p>06：決算①</p> <p>07：現金及び預金</p> <p>08：手形/電債/その他の決算整理①</p> <p>09：税金/その他の決算整理②</p> <p>10：債権・債務①</p> <p>11：債権・債務②/訂正仕訳/固定資産</p> <p>12：その他の決算整理③</p> <p>13：株式会社の資本</p> <p>14：その他の決算整理④</p> <p>15：決算②・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・ テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級商業簿記Ⅰ(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 広く一般に通用する簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。</p> <p>【概要】 財務諸表作成までの一連の流れを把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。</p>				
到達目標	大規模企業における取引が理解できる。 大規模企業の帳簿を作成できる。 大規模企業の財務諸表を作成できる。				
授業内容	回 01：総論 02：収益と費用① 03：収益と費用② 04：棚卸資産① 05：棚卸資産② 06：現金預金 07：債権債務 08：有価証券① 09：有価証券② 10：有価証券③ 11：固定資産① 12：固定資産② 13：固定資産③ 14：固定資産④ 15：為替換算会計①	回 16：為替換算会計② 17：引当金① 18：引当金② 19：法人税等① 20：法人税等② 21：株式会社の純資産① 22：株式会社の純資産② 23：株式会社の純資産③ 24：企業結合 25：株主資本等変動計算書 26：確認テスト 27：確認テスト解説 28：連結会計① 29：連結会計② 30：連結会計③			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級商業簿記Ⅰ(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 広く一般に通用する簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。</p> <p>【概要】 財務諸表作成までの一連の流れを把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。</p>				
到達目標	大規模企業における取引が理解できる。 大規模企業の帳簿を作成できる。 大規模企業の財務諸表を作成できる。				
授業内容	回 01：連結会計④ 02：連結会計⑤ 03：連結会計⑥ 04：連結会計⑦ 05：連結会計⑧ 06：連結会計⑨ 07：本支店会計① 08：本支店会計② 09：本支店会計③ 10：本支店会計④ 11：総合問題対策① 12：総合問題対策①解説 13：総合問題対策② 14：総合問題対策②解説 15：総合問題対策③	回 16：総合問題対策③解説 17：総合問題対策④ 18：総合問題対策④解説 19：総合問題対策⑤ 20：総合問題対策⑤解説 21：総合問題対策⑥ 22：総合問題対策⑥解説 23：総合問題対策⑦ 24：総合問題対策⑦解説 25：総合問題対策⑧ 26：総合問題対策⑧解説 27：総合問題対策⑨ 28：総合問題対策⑨解説 29：総合問題対策⑩ 30：総合問題対策⑩解説・まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅰ(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。				
概要	【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	回 01：工業簿記の基礎 02：工業簿記における記帳 03：材料費会計① 04：材料費会計② 05：労務費会計① 06：労務費会計② 07：労務費会計③ 08：経費会計 09：製造間接費会計① 10：製造間接費会計② 11：単純個別原価計算① 12：単純個別原価計算② 13：工企業の財務諸表① 14：工企業の財務諸表② 15：部門別計算①	回 16：部門別計算② 17：部門別計算③ 18：総合原価計算概論① 19：総合原価計算概論② 20：総合原価計算概論③ 21：総合原価計算① 22：総合原価計算② 23：総合原価計算③ 24：総合原価計算④ 25：総合原価計算⑤ 26：総合原価計算⑥ 27：総合原価計算⑦ 28：標準原価計算① 29：標準原価計算② 30：標準原価計算③			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級工業簿記Ⅰ(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	60	単位	4	実務家	
授業目的	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。				
概要	【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	回 01：標準原価計算④ 02：CVP分析① 03：CVP分析② 04：売上高差異の分析 05：直接原価計算① 06：直接原価計算② 07：直接原価計算③ 08：工場会計の独立 09：項目別答練① 10：項目別答練② 11：項目別答練③ 12：項目別答練④ 13：項目別答練⑤ 14：項目別答練⑥ 15：項目別答練⑦	回 16：項目別答練⑧ 17：問題演習答練① 18：問題演習答練② 19：問題演習答練③ 20：問題演習答練④ 21：問題演習答練⑤ 22：問題演習答練⑥ 23：問題演習答練⑦ 24：問題演習答練⑧ 25：問題演習答練⑨ 26：問題演習答練⑩ 27：問題演習答練⑪ 28：問題演習答練⑫ 29：問題演習答練⑬ 30：問題演習答練⑭・まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	2級簿記総合Ⅰ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記2級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日商簿記2級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記2級レベルの仕訳や勘定口座への記入ができる。</p> <p>日商簿記2級レベルの財務諸表を作成することができる。</p> <p>日商簿記2級レベルの工業簿記・原価計算が解答できる。</p>				
授業内容	回 01：答案練習① 02：答案練習①解説 03：答案練習② 04：答案練習②解説 05：答案練習③ 06：答案練習③解説 07：答案練習④ 08：答案練習④解説 09：答案練習⑤ 10：答案練習⑤解説 11：答案練習⑥ 12：答案練習⑥解説 13：答案練習⑦ 14：答案練習⑦解説 15：答案練習⑧	回 16：答案練習⑧解説 17：公開模試 18：公開模試解説 19：直前答案練習① 20：直前答案練習①解説 21：直前答案練習② 22：直前答案練習②解説 23：直前答案練習③ 24：直前答案練習③解説 25：直前答案練習④ 26：直前答案練習④解説 27：直前答案練習⑤ 28：直前答案練習⑤解説 29：直前答案練習⑥ 30：直前答案練習⑥解説・まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級商簿会計Ⅱ基礎(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 グローバル企業における簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成ができるようになる。</p> <p>【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法を学習する。</p>				
到達目標	<p>グローバル企業における取引が理解できる。</p> <p>グローバル企業における帳簿を作成できる。</p> <p>グローバル企業における財務諸表を作成できる。</p>				
授業内容	回 01：財務諸表 02：有価証券① 03：有価証券② 04：有価証券③ 05：有価証券④ 06：デリバティブ取引・ヘッジ会計等① 07：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 08：確認テスト①・解説 09：有形固定資産① 10：有形固定資産② 11：有形固定資産③ 12：割引現在価値/リース取引① 13：リース取引② 14：リース取引③ 15：研究開発①	回 16：研究開発②/減損会計① 17：減損会計② 18：減損会計③/繰延資産 19：社債① 20：社債② 21：社債③ 22：貸倒引当金① 23：貸倒引当金② 24：貸倒引当金③ 25：退職給付① 26：退職給付② 27：退職給付③ 28：退職給付④ 29：確認テスト②・解説 30：資産除去債務①			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級商簿会計Ⅱ基礎(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 グローバル企業における簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成ができるようになる。</p> <p>【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法を学習する。</p>				
到達目標	<p>グローバル企業における取引が理解できる。</p> <p>グローバル企業における帳簿を作成できる。</p> <p>グローバル企業における財務諸表を作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：資産除去債務②</p> <p>02：資産除去債務③</p> <p>03：純資産①</p> <p>04：純資産②</p> <p>05：純資産③</p> <p>06：新株予約権と新株予約権付社債①</p> <p>07：新株予約権と新株予約権付社債②</p> <p>08：ストック・オプション①</p> <p>09：ストック・オプション②</p> <p>10：ストック・オプション③</p> <p>11：確認テスト③・解説</p> <p>12：税効果会計①</p> <p>13：税効果会計②</p> <p>14：税効果会計③</p> <p>15：確認テスト④・解説・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

					学科名
授業科目	1級商簿会計Ⅱ応用(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理を学習する。</p>				
到達目標	<p>大規模企業の財務諸表を作成できるようになる。</p> <p>論理的に会計処理を説明できるようになる。</p> <p>各分野の体系的・構造的理解ができるようになる。</p>				
授業内容	回 01：確認テスト①・解説 02：外貨建取引① 03：外貨建取引② 04：外貨建取引③ 05：確認テスト②・解説 06：商品売買等① 07：商品売買等② 08：確認テスト③・解説 09：連結総論/資本連結① 10：資本連結② 11：資本連結③ 12：資本連結④/成果連結① 13：成果連結② 14：成果連結③ 15：成果連結④	回 16：連結税効果会計① 17：連結税効果会計② 18：持分法① 19：持分法② 20：確認テスト④・解説 21：包括利益① 22：包括利益② 23：在外子会社① 24：在外子会社② 25：企業結合① 26：企業結合② 27：企業結合③ 28：企業結合④ 29：確認テスト⑤・解説 30：事業分離①			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

					学科名
授業科目	1級商簿会計Ⅱ応用(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理を学習する。</p>				
到達目標	<p>大規模企業の財務諸表を作成できるようになる。</p> <p>論理的に会計処理を説明できるようになる。</p> <p>各分野の体系的・構造的理解ができるようになる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：事業分離②</p> <p>02：本支店会計①</p> <p>03：本支店会計②</p> <p>04：本支店会計③</p> <p>05：確認テスト⑥・解説</p> <p>06：キャッシュ・フロー計算書①</p> <p>07：キャッシュ・フロー計算書②</p> <p>08：キャッシュ・フロー計算書③</p> <p>09：確認テスト⑦・解説</p> <p>10：連結キャッシュ・フロー計算書①</p> <p>11：連結キャッシュ・フロー計算書②</p> <p>12：会計上の変更</p> <p>13：収益認識①</p> <p>14：収益認識②</p> <p>15：確認テスト⑧・解説・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級工簿原計Ⅱ基礎(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的	<p>【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。</p>				
概要	<p>【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。</p>				
到達目標	<p>個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。</p> <p>総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。</p> <p>標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総論</p> <p>02：費目別計算①-材料費-</p> <p>03：費目別計算②-労務費-</p> <p>04：費目別計算③-労務費-</p> <p>05：費目別計算④-経費-</p> <p>06：費目別計算⑤-製造間接費-</p> <p>07：費目別計算⑥-製造間接費-</p> <p>08：費目別計算まとめ</p> <p>09：部門別計算①</p> <p>10：部門別計算②</p> <p>11：部門別計算③</p> <p>12：部門別計算④</p> <p>13：部門別計算⑤</p> <p>14：部門別計算⑥</p> <p>15：部門別計算まとめ</p>	<p>回</p> <p>16：個別原価計算①</p> <p>17：個別原価計算②</p> <p>18：個別原価計算③</p> <p>19：部門別個別原価計算①</p> <p>20：部門別個別原価計算②</p> <p>21：部門別個別原価計算③</p> <p>22：部門別個別原価計算まとめ</p> <p>23：総合原価計算①</p> <p>24：総合原価計算②</p> <p>25：総合原価計算③-減損・仕損-</p> <p>26：総合原価計算④-減損・仕損-</p> <p>27：総合原価計算⑤-減損・仕損-</p> <p>28：総合原価計算⑥-減損・仕損-</p> <p>29：総合原価計算⑦-異常減損・異常仕損-</p> <p>30：総合原価計算⑧-異常減損・異常仕損-</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級工簿原計Ⅱ基礎(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。</p> <p>【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。</p>				
到達目標	<p>個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。</p> <p>総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。</p> <p>標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総合原価計算⑨-副産物-</p> <p>02：工程別総合原価計算</p> <p>03：総合原価計算まとめ</p> <p>04：組別・等級別総合原価計算</p> <p>05：連産品①</p> <p>06：連産品②</p> <p>07：連産品③</p> <p>08：連産品④</p> <p>09：連産品まとめ</p> <p>10：標準原価計算①-仕掛品勘定-</p> <p>11：標準原価計算②-減損・仕損-</p> <p>12：標準原価計算③-減損・仕損-</p> <p>13：標準原価計算④-配合歩留差異-</p> <p>14：標準原価計算⑤-配合歩留差異-</p> <p>15：標準原価計算まとめ・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級工簿原計Ⅱ応用(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。</p>				
到達目標	<p>損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。 特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。 複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。</p>				
授業内容	回 01：短期利益計画① 02：短期利益計画② 03：短期利益計画③ 04：短期利益計画④ 05：短期利益計画まとめ 06：事業部制① 07：事業部制② 08：事業部制まとめ 09：予算編成① 10：予算編成② 11：予算編成③ 12：予算編成まとめ 13：予算統制① 14：予算統制② 15：予算統制③	回 16：予算統制まとめ 17：業務的意思決定① 18：業務的意思決定② 19：業務的意思決定③ 20：業務的意思決定④ 21：業務的意思決定まとめ① 22：業務的意思決定⑤ 23：業務的意思決定⑥ 24：業務的意思決定⑦ 25：業務的意思決定⑧ 26：業務的意思決定まとめ② 27：構造的意決定① 28：構造的意決定② 29：構造的意決定③ 30：構造的意決定④			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級工簿原計Ⅱ応用(2-2)	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。</p>				
到達目標	<p>損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。</p> <p>特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。</p> <p>複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：構造的意思決定まとめ①</p> <p>02：構造的意思決定⑤</p> <p>03：構造的意思決定⑥</p> <p>04：構造的意思決定⑦</p> <p>05：構造的意思決定⑧</p> <p>06：構造的意思決定まとめ②</p> <p>07：ライフサイクルコストニング</p> <p>08：品質原価計算①</p> <p>09：品質原価計算②</p> <p>10：品質原価計算③</p> <p>11：原価企画①</p> <p>12：原価企画②</p> <p>13：活動基準原価計算①</p> <p>14：活動基準原価計算②</p> <p>15：戦略的原価計算総まとめ・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。 				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級商簿会計総合Ⅱ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記1級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日商簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記1級レベルの個別問題が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの総合問題が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの特殊論点が解答できる。</p>				
授業内容	回 01：過去問演習及び未確認項目① 02：過去問演習及び未確認項目② 03：過去問演習及び未確認項目③ 04：過去問演習及び未確認項目④ 05：過去問演習及び未確認項目⑤ 06：過去問演習及び未確認項目⑥ 07：過去問演習及び未確認項目⑦ 08：過去問演習及び未確認項目⑧ 09：過去問演習及び未確認項目⑨ 10：過去問演習及び未確認項目⑩ 11：過去問演習及び未確認項目⑪ 12：過去問演習及び未確認項目⑫ 13：過去問演習及び未確認項目⑬ 14：過去問演習及び未確認項目⑭ 15：過去問演習及び未確認項目⑮	回 16：過去問答案練習① 17：過去問答案練習② 18：過去問答案練習③ 19：過去問答案練習④ 20：過去問答案練習⑤ 21：過去問答案練習⑥ 22：過去問答案練習⑦ 23：過去問答案練習⑧ 24：過去問答案練習⑨ 25：過去問答案練習⑩ 26：過去問答案練習⑪ 27：過去問答案練習⑫ 28：過去問答案練習⑬ 29：過去問答案練習⑭ 30：過去問答案練習⑮			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	1級商簿会計総合Ⅱ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記1級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日商簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記1級レベルの個別問題が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの総合問題が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの特殊論点が解答できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：総まとめ</p> <p>02：公開模擬試験</p> <p>03：公開模擬試験解説</p> <p>04：直前模擬試験①</p> <p>05：直前模擬試験①解説</p> <p>06：直前模擬試験②</p> <p>07：直前模擬試験②解説</p> <p>08：直前模擬試験③</p> <p>09：直前模擬試験③解説</p> <p>10：直前模擬試験④</p> <p>11：直前模擬試験④解説</p> <p>12：直前模擬試験⑤</p> <p>13：直前模擬試験⑤解説</p> <p>14：直前模擬試験⑥</p> <p>15：直前模擬試験⑥解説・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級工簿原計総合Ⅱ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記1級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日商簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記1級レベルの個別原価計算の解答ができる。</p> <p>日商簿記1級レベルの総合原価計算が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの原価計算の解答ができるようになる。</p>				
授業内容	回 01：過去問題演習 1 02：過去問題演習 2 03：過去問題演習 3 04：過去問題演習 4 05：過去問題演習 5 06：過去問題演習 6 07：過去問題演習 7 08：過去問題演習 8 09：過去問題演習 9 10：過去問題演習 10 11：過去問題演習 11 12：過去問題演習 12 13：過去問題演習 13 14：過去問題演習 14 15：過去問題演習 15	回 16：過去問題演習 16 17：過去問題演習 17 18：過去問題演習 18 19：過去問題演習 19 20：過去問題演習 20 21：過去問題演習 21 22：過去問題演習 22 23：過去問題演習 23 24：過去問題演習 24 25：過去問題答案練習 1 26：過去問題答案練習 2 27：過去問題答案練習 3 28：過去問題答案練習 4 29：過去問題答案練習 5 30：過去問題答案練習 6			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	1級工簿原計総合Ⅱ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	45	単位	4	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日商簿記1級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日商簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>日商簿記1級レベルの個別原価計算の解答ができる。</p> <p>日商簿記1級レベルの総合原価計算が解答できる。</p> <p>日商簿記1級レベルの原価計算の解答ができるようになる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：過去問題答案練習7</p> <p>02：公開模擬試験</p> <p>03：公開模擬試験解説</p> <p>04：直前答案練習①</p> <p>05：直前答案練習①解説</p> <p>06：直前答案練習②</p> <p>07：直前答案練習②解説</p> <p>08：直前答案練習③</p> <p>09：直前答案練習③解説</p> <p>10：直前答案練習④</p> <p>11：直前答案練習④解説</p> <p>12：直前答案練習⑤</p> <p>13：直前答案練習⑤解説</p> <p>14：直前答案練習⑥</p> <p>15：直前答案練習⑥解説・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

学科名					
授業科目	1級商簿会計総合Ⅴ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 全経簿記1級商業簿記・財務会計の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 全経簿記1級商業簿記・財務会計の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>全経簿記1級商業簿記・財務会計レベルの総合問題が解答できる。</p> <p>全経簿記1級商業簿記・財務会計レベルの個別問題が解答できる。</p> <p>全経簿記1級商業簿記・財務会計レベルの過去問題が解答できる。</p>				
授業内容	回 01：過去問演習及び未確認項目① 02：過去問演習及び未確認項目② 03：過去問演習及び未確認項目③ 04：過去問演習及び未確認項目④ 05：過去問演習及び未確認項目⑤ 06：過去問演習及び未確認項目⑥ 07：過去問演習及び未確認項目⑦ 08：過去問演習及び未確認項目⑧ 09：過去問演習及び未確認項目⑨ 10：過去問演習及び未確認項目⑩ 11：過去問演習及び未確認項目⑪ 12：過去問演習及び未確認項目⑫ 13：過去問演習及び未確認項目⑬ 14：過去問演習及び未確認項目⑭ 15：過去問演習及び未確認項目⑮	回 16：過去問演習及び未確認項目⑯ 17：過去問演習及び未確認項目⑰ 18：過去問演習及び未確認項目⑱ 19：過去問演習及び未確認項目⑲ 20：過去問演習及び未確認項目⑳ 21：過去問演習及び未確認項目㉑ 22：過去問演習及び未確認項目㉒ 23：過去問演習及び未確認項目㉓ 24：過去問演習及び未確認項目㉔ 25：過去問答案練習① 26：過去問答案練習② 27：過去問答案練習③ 28：過去問答案練習④ 29：過去問答案練習⑤ 30：過去問答案練習⑥・まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	1級工簿原計総合Ⅴ(2-2)	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 全経簿記1級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 全経簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>全経簿記1級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p> <p>全経簿記1級レベルの総合問題が解答できる。</p> <p>全経簿記1級レベルの個別問題の解答ができるようになる。</p>				
授業内容	回 01：過去問演習及び未確認項目① 02：過去問演習及び未確認項目② 03：過去問演習及び未確認項目③ 04：過去問演習及び未確認項目④ 05：過去問演習及び未確認項目⑤ 06：過去問演習及び未確認項目⑥ 07：過去問演習及び未確認項目⑦ 08：過去問演習及び未確認項目⑧ 09：過去問演習及び未確認項目⑨ 10：過去問演習及び未確認項目⑩ 11：過去問演習及び未確認項目⑪ 12：過去問演習及び未確認項目⑫ 13：過去問演習及び未確認項目⑬ 14：過去問演習及び未確認項目⑭ 15：過去問演習及び未確認項目⑮	回 16：過去問演習及び未確認項目⑯ 17：過去問演習及び未確認項目⑰ 18：過去問演習及び未確認項目⑱ 19：過去問演習及び未確認項目⑲ 20：過去問演習及び未確認項目⑳ 21：過去問演習及び未確認項目㉑ 22：過去問演習及び未確認項目㉒ 23：過去問演習及び未確認項目㉓ 24：過去問演習及び未確認項目㉔ 25：過去問答案練習① 26：過去問答案練習② 27：過去問答案練習③ 28：過去問答案練習④ 29：過去問答案練習⑤ 30：過去問答案練習⑥・まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	苦手な項目を復習する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	税務会計法人税	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 法人の所得金額に対して課税する法人税の基礎計算を学び、経理担当者として必要な税務処理知識を習得することを目的とする。</p> <p>【概要】 法人税の概要から所得金額と納付税額の計算を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経理担当者として知っておくべき法人税の基礎的な仕組みを理解する。</p> <p>基礎的な法人税申告書の作成ができるようになる。</p> <p>法人税法能力検定3級に合格できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：法人税の概要</p> <p>02：課税標準、税額計算</p> <p>03：同族会社、資産評価等</p> <p>04：減価償却</p> <p>05：繰延資産、租税公課</p> <p>06：受取配当等、役員給与等</p> <p>07：寄付金、交際費</p> <p>08：貸倒引当金、欠損金の繰越し</p> <p>09：過去問演習①</p> <p>10：過去問演習②</p> <p>11：過去問演習③</p> <p>12：過去問演習④</p> <p>13：過去問演習⑤</p> <p>14：過去問演習⑥</p> <p>15：過去問演習⑦・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容を確認する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	税務会計所得税	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 所得税法の体系的理解と、個人の所得計算・申告事務に関する基礎知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 10種類の所得区分、所得控除、税額計算の仕組みを学習する。</p>				
到達目標	<p>所得税の基礎概念を理解する。</p> <p>10種類の所得区分を正確に判定し、各所得金額の計算および、各種所得控除を理解している。</p> <p>3級レベルの検定試験において基本的な問題の知識を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：所得税の概要</p> <p>02：不動産所得</p> <p>03：事業所得①（収入と経費）</p> <p>04：事業所得②（事業所得の一連の流れ）</p> <p>05：給与所得</p> <p>06：利子・配当・一時・雑所得</p> <p>07：山林所得・譲渡所得</p> <p>08：所得控除</p> <p>09：総合課税の計算</p> <p>10：過去問演習①</p> <p>11：過去問演習②</p> <p>12：過去問演習③</p> <p>13：過去問演習④</p> <p>14：過去問演習⑤</p> <p>15：過去問演習⑥・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容を確認する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	税務会計消費税	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 消費税の体系的理解と基本的な申告事務に関する知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 課税、非課税、免税の取引区分を理解するとともに、申告書類の作成方法を学習する。</p>				
到達目標	<p>取引区分を分別できるようになる。</p> <p>原則的な申告書の作成ができるようになる。</p> <p>簡易課税等の特殊な場合の申告ができるようになる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：消費税の概要・消費税額の計算</p> <p>02：取引の分類（課税取引・非課税取引）</p> <p>03：取引の分類（免税取引）</p> <p>04：納税義務者</p> <p>05：課税標準・税率・資産の譲渡等の時期</p> <p>06：仕入税額控除</p> <p>07：仕入れ・売上に係る対価の返還等・ 貸倒に係る消費税額の控除等</p> <p>08：簡易課税・申告・納付・納税地</p> <p>09：過去問演習①</p> <p>10：過去問演習②</p> <p>11：過去問演習③</p> <p>12：過去問演習④</p> <p>13：過去問演習⑤</p> <p>14：過去問演習⑥</p> <p>15：過去問演習⑦・まとめ</p>				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容を確認する。				

Syllabus

					学科名
授業科目	病院実習 A (10 日間)	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 医療機関での現場体験を通じ、座学で学んだ各種知識を活かし、医療事務従事者として必要な能力を実践的に身に付けることを目的とする。</p> <p>【概要】 医療機関における現場での対応スキルを学習するとともに、患者対応力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>ビジネスマナーを理解し実践的な患者接遇を体験する。</p> <p>新患及び再来受付業務と会計窓口業務を実際に体験する。</p> <p>カルテ管理とレセプト管理を実際に体験する。</p>				
授業内容	回 01 : 病院実習 1 02 : 病院実習 2 03 : 病院実習 3 04 : 病院実習 4 05 : 病院実習 5 06 : 病院実習 6 07 : 病院実習 7 08 : 病院実習 8 09 : 病院実習 9 10 : 病院実習 10 11 : 病院実習 11 12 : 病院実習 12 13 : 病院実習 13 14 : 病院実習 14 15 : 病院実習 15	回 16 : 病院実習 16 17 : 病院実習 17 18 : 病院実習 18 19 : 病院実習 19 20 : 病院実習 20 21 : 病院実習 21 22 : 病院実習 22 23 : 病院実習 23 24 : 病院実習 24 25 : 病院実習 25 26 : 病院実習 26 27 : 病院実習 27 28 : 病院実習 28 29 : 病院実習 29 30 : 病院実習 30			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

Syllabus

					学科名
授業科目	病院実習 B (5 日間)	授業形態	実習	区 分	選択必修
年 次	1	時 期	後期	担 当	本学園教員
授業回数	15	単 位	1	実務家	
授業目的 概 要	<p>【目的】 医療機関での現場体験を通じ、座学で学んだ各種知識を活かし、医療事務従事者として必要な能力を実践的に身に付けることを目的とする。</p> <p>【概要】 医療機関における現場での対応スキルを学習するとともに、患者対応力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>ビジネスマナーを理解し実践的な患者接遇を体験する。</p> <p>新患及び再来受付業務と会計窓口業務を実際に体験する。</p> <p>カルテ管理とレセプト管理を実際に体験する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 病院実習 1</p> <p>02 : 病院実習 2</p> <p>03 : 病院実習 3</p> <p>04 : 病院実習 4</p> <p>05 : 病院実習 5</p> <p>06 : 病院実習 6</p> <p>07 : 病院実習 7</p> <p>08 : 病院実習 8</p> <p>09 : 病院実習 9</p> <p>10 : 病院実習 10</p> <p>11 : 病院実習 11</p> <p>12 : 病院実習 12</p> <p>13 : 病院実習 13</p> <p>14 : 病院実習 14</p> <p>15 : 病院実習 15</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の 内 容					